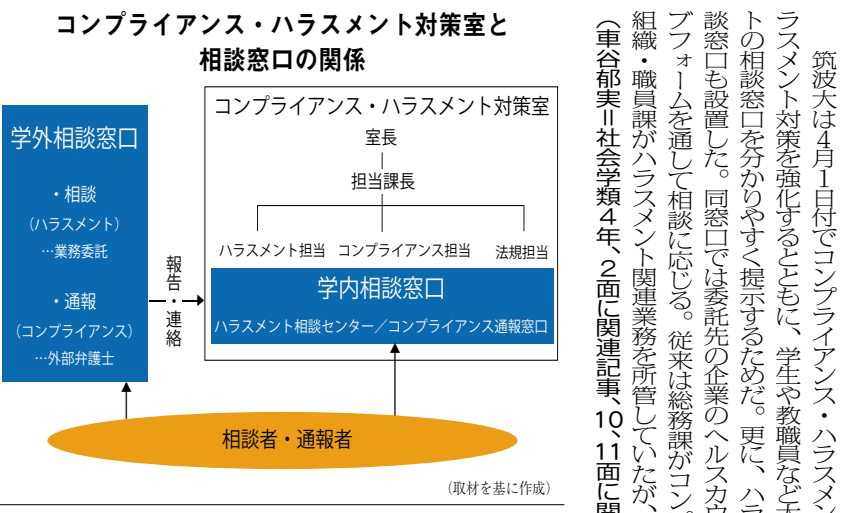


筑波大学新聞

第376号
編集責任 筑波大学新聞 編集委員会
TEL・FAX 029(853)6699
E-mail shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊
発行所 筑波大学
茨城県つくば市 天王台1-1-1

筑波大 ハラスメント対策強化 学外窓口 24時間相談対応も



筑波大は4月1日付でコンプライアンス・ハラスメント対策室を設置した。ハラスメント対策を強化するとともに、学生や教職員など大学の構成員にハラスメントの相談窓口を分かりやすく提示するため。更に、ハラスメントに関する学外相談窓口も設置した。同窓口では委託先の企業のヘルスカウンセラーらが電話やウェブフォームを通して相談に応じる。従来は総務課がコンプライアンス関連業務を組織・職員課がハラスメント関連業務を所管していたが、これを一本化した。(車谷郁美 社会学類4年、2面に関連記事、10、11面に関連特集、4面に記者の声)

今年度は対面授業基本に オンラインの単位数特例は解除

筑波大の加藤光保副学長(教育担当)は2月8日、「対面」を基本とするとして2023年度の授業実施方針を学生に通知した。ただし、オンラインの方が高い教育効果が得られる科目は「オンライン授業」とする。大学設置基準は、卒業要件に算入できるオンライン授業の単位数上限を60単位と定めている。22年度までの3年間はコロナ下の特別措置で、オンライン授業科目も対面授業科目として扱われたが、23年度からはこの特例がなくなる。このため、加藤副学長は、過度にオンライン授業科目を履修しないよう学生に呼び掛けている。(加藤緑 生物学類2年)

昨年6月に提出された授業「とる」としていた。対面授業を基本としたのは、社会がウィズコロナに徹底するとし、教室の換気マシンの組み合わせを基本とした。対面授業を基本としたのは、社会がウィズコロナに徹底するとし、教室の換気マシンの組み合わせを基本とした。対面授業を基本としたのは、社会がウィズコロナに徹底するとし、教室の換気マシンの組み合わせを基本とした。

コンプライアンス・ハラスメント対策室には▽ハラスメント事案に対応するハラスメント担当▽法令違反などを確認し、訴訟などにも対応するコンプライアンス担当▽学内規則の制定改廃及び規則の解釈を行う法規担当の三つの担当が置かれた。これらを室長と担当課長が統括する。ハラスメント相談では、専門資格を持つカウンセラーと教職員の中から2年の任期で選ばれるハラスメント相談員が相談にあたる。相談者は室長と担当課長が統括する。

録表の記入と携帯を学生に求めている。マスク着用については、各個人の判断に委ねることを基本とする。オンライン授業科目となるのは、主に1年生が履修する専門導入科目など基礎的な知識の定着が目的の科目で、オンデマンド型で開講する。繰り返し視聴することが期待されるからだ。23年度からオンライン授業科目を対面授業科目として扱う特別措置がなくなる。業科目と併せて、教育推進課は「対面授業科目」と「オンライン授業科目」として扱う特別措置がなくなる。業科目と併せて、教育推進課は「対面授業科目」と「オンライン授業科目」として扱う特別措置がなくなる。

新設された学外相談窓口を担当するのは、メンタルカウンセリング事業などを手掛ける「ティーベック(本社・東京都台東区)」。同社のヘルスカウンセラーの他、相談内容や相談者の心理状態に合わせ、臨床心理士や精神保健福祉士、産業カウンセラーらが電話やウェブフォームへの返信に対応する。電話相談は年末年始と祝日を除く全ての日で受け付ける。火曜日と木曜日が午前10時～午後10時まで、その他の曜日は午前10時～午後9時まで。ウェブフォームは24時間受け付けている。

筑波大の学生応援プログラム「T・A・C・T」団体の「Yarn Bombing in Tsukuba (YB)」が昨年11月からワークショップを開催するなどして準備した。作品は回収の上、再利用することも検討中だという。(衣笠有紀 心理学類3年、写真も)

桐の葉と共に中 筑波大学開学50周年 筑波キャンパスを南北に分ける平塚通り。その上にかかる桐葉橋から東を望むと、「井上サイクル」の看板が目につく。筑波大生は自転車のことを「人権」と呼ぶ。キャンパスが広大な筑波大生にとって、自転車は移動に必須の乗り物で、人権と同様に失ってはならないものだからだ。そんな筑波大生の「人権」を支え続けてきたのが、1979年開業の「井上サイクル」(つくば市天久保)である。平塚通りに面した店頭には、約100台の自転車やオートバイが並び、学生

「学生がお金に困ることがないように」と、販売する。研究都市建設の工事業者だった養父の井上博さん(92)だ。「広大なキャンパス」の活動を支援したい」と意気軒高だ。(本紙取材班)

「心臓学を学ばば友人のような子供たちの力になれるかもしれない。2年生の秋、周囲に内緒で受験勉強を始め、翌春、心理学類に合格した。迎えた入学式の当日。心細くなり、大学行ききのバス停にいたスーツ姿の小柄な女性に声を掛けた。「あなたも新入生ですか。すると「大学院です」と、やや発音に癖のある日本語が返ってきて、はっとした。彼女は中国で大学を卒業後、クルーズ船スタッフになった。訪問先の日本人の優しさにひかれ、留学を決めたという。「日本のIT企業に勤めたい」と笑顔で話す彼女を見て、いくつになってもやり直したいんだ、自分の選択は間違っていないかと、初めて思えた。

注目記事	サッカー場 12年ぶりに改修
	卒業・修了展 力作213点
	森 リードジャパン杯4連覇
	露侵攻1年 ウクライナ学生の声
	くるくる桜マルシェ開催
特集	「ハラスメント」なくすために 本紙学内アンケート実施
ミニ特集	科学の街・つくばを巡る 主な常設展示を紹介



「人権」守り40年余 筑波大生の「人権」守り40年余 筑波大生は自転車のことを「人権」と呼ぶ。キャンパスが広大な筑波大生にとって、自転車は移動に必須の乗り物で、人権と同様に失ってはならないものだからだ。そんな筑波大生の「人権」を支え続けてきたのが、1979年開業の「井上サイクル」(つくば市天久保)である。平塚通りに面した店頭には、約100台の自転車やオートバイが並び、学生

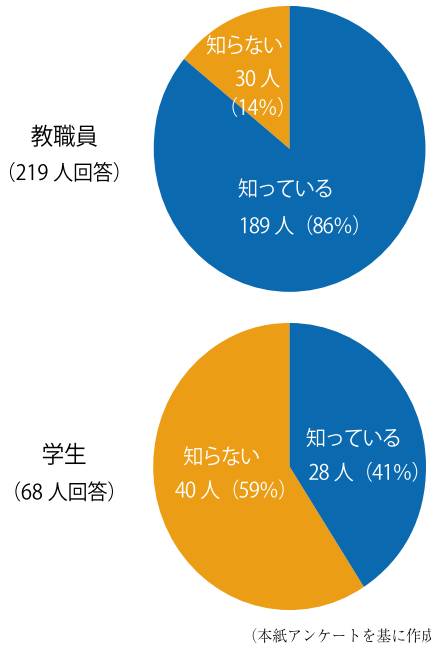


「春から筑波」が並ぶスマートフォン画面。桜や音符の絵文字が新生活への期待感を演出する。口から思わず「春からまたつくばか」とこぼれていた。2年前に、筑波大に2度目の合格を果たした時のことだ。研究者に憧れて筑波大の理学系学類に入学したが、不器用で実験が下手だった。作業に一人一倍時間がかり授業内に終わらない。そんな自分に嫌気がさしていた時に受講した心理学の授業が、私の心を揺さぶった。子供の非行は、周囲の環境の影響も大きいという内容だった。「親が外出しがちで家にいないのがさみしい。小学生の時から飲酒や深夜徘徊していた友人を思い出す。自分もいつか、初めて思えた。

相談センター 学生の認知度低く

本紙ハラスメントアンケートで

筑波大のハラスメント相談センターについて知っていますか



【一面参照】本紙は今年3月、ハラスメント体験や筑波大の相談窓口に関する学内アンケートを実施し、教職員計219人、学生計68人から回答を得た。筑波大が設けている「ハラスメント相談センター」を知っているかという質問では、教職員の回答者のうち189人(86%)が存在を知っていること答えたが、学生では28人(41%)にとどまり、認知度の低さが浮かんた。筑波大は今年、コンプライアンス・ハラスメント対策室を新設し、学外相談窓口も設けた。積極的な周知が求められる。(車谷郁美)

アンケートではハラスメント相談センターを利用し、職員では148人(68%)、学生では57人(84%)が利用したいと答えた。その理由として「客観的な意見がもらえると思う」「前利用し、迅速な対応をしてもいい」と答えた。

「一方、ハラスメントを訴えたことに対する報復が怖い」「仕事に席を外して相談に行きづらい」など懸念の声も聞かれた。加藤和彦副学長(総務人事・情報環境担当)は学外相談窓口について「気軽に利用してほしい」と呼び掛けている。

一方、ハラスメント体験に関する問いでは、筑波大に入学・赴任後に「何らかのハラスメントと感じられた対応を受けたことがある」と教職員95人(43%)、学生10人(15%)が回答した。受けたと感じられたハラスメントの種類(複数回答可)は、教職員では「パワーハラスメント(パワハラ)」が69人(32%)で最も多く、モラルハラスメントが40人(18%)と続いた。

主なハラスメントの種類

セクシュアルハラスメント	性的な侮辱や嫌がらせをする行為
アカデミックハラスメント	大学などの教育機関において、教育・研究上の優位性を背景に、上の立場の者が下の立場の者などに対して、教育や研究、修学上の不利益や損害を与える行為
パワーハラスメント	職場などでの立場や優位性を利用して身体的・精神的苦痛を与える行為
モラルハラスメント	精神的な攻撃を目的として叱責し、個人の生き方や価値観を否定する行為
マタニティハラスメント 育児・介護休業におけるハラスメント	妊娠、出産、育児や介護に関することで就業上の不利益を与えたり、身体的・精神的苦痛を与えたりする行為

(筑波大の資料などを基に作成)

学生ではアカデミックハラスメント(アカハラ)が5人(7%)で最も多かった。

つくば市 ネット投票 障害者が体験 24年の導入目指し

筑波技術大春日キャンパス(つくば市春日)で2月14日、身体障害者7人が架空の候補者を選ぶインターネット模擬投票を体験した。つくば市は先端技術を活用して住みよくなる「スマートつくば」の構想の一つとして、2024年の市長・市議員へのネット投票導入を目指している。模擬投票はその実証実験の一環で、参加者からは投票しやすくなるなどの意見が出された。

アンケートはマイクロソフトフォームズで教職員用と学生用を作成し、オンライン教職員専用サイトや教育情報システム「TWIN S」の掲示板で協力を呼び掛けた。メールアドレスを公開している教職員にはメールでも協力を要請した。

教職員用の回答者の内訳は教職員118人、事務職員81人、無回答4人、その他16人。男女別では男性134人、女性79人、その他・無回答6人だった。

学生用の回答者の内訳は学群生49人、大学院生19人、男女別は男性33人、女性34人、その他1人。

回答の内容がハラスメントとして認定されるものかどうかを本紙が判断することはできないため、アンケートの結果は「ハラスメントを受けた経験」ではなく、「受けたと感じられた経験」などと表現した。

投票の流れは昨年11月とほぼ一緒だ。参加者はメールで送られてきた投票用番号と自身のメールアドレスをスマートフォンから入力し、本人確認する。すると、つくば市の市政情報提供アプリ「つくスマ」が起動し、マイナンバーカードによる個人認証を経て、投票に進む。

視覚障害のある参加者はスマホの読み上げ機能や表示拡大機能を使って、情報を入力した。

読み上げ機能を使って模擬投票した筑波技術大3年生の平海依さんは「初めて使うアプリが多く、画面構造の把握に時間がかかったが、移動の負担などを考えるとネット投票の方が便利だ」と話した。

VOTE FORの担当者は「実証実験で見つけた課題を解決し、障害者も投票しやすい環境を構築したい」と語った。

(川上真生II社会学類2年)

サッカー場12年ぶりに改修

人工芝全面張り替え 二管からも協力

筑波大サッカー場の人工芝が約12年ぶりに張り替えられ、3月16日に改修記念式典が開かれた。永田恭介学長や太田圭副学長(学生担当、当時)など教職員と筑波大学蹴球部、女子サッカー部の部員を合わせ約140人が参加した。

式典では永田学長と蹴球部主将の山内翔選手(体育専4年)、女子サッカー部主将の野嶋彩未選手(同4年)ら8人でテープカットが行われた。永田学長は始球式も務め、蹴球部のゴールキーパー高山彩生選手(同4年)を相手にペナルティキックでゴールを決めた。



改修記念式典でテープカットをする学長ら=筑波大学蹴球部提供

サッカー場は1973年の開学と同時に造られ、2004年に土のグラウンドから人工芝に改修された。人工芝は一般に10年に一度は張り替えが必要になる。ドから人工芝に改修された。

とされるが、筑波大のサッカー場は11年の張り替え以降改修されておらず、老朽化が進んでいた。公式戦の開催が難しいだけでなく、練習中のけがにもつながりかねないため、創設151年筑波大学開学50周年に向け、昨年4月から改修に必要な資金を募るプロジェクトが始まった。

蹴球部OBで元日本代表の中山雅史さん(J3・アスルクラロ沼津監督)や昨年のワールドカップ(W杯)カタール大会で活躍した三笠雄選手(フライオン)も寄付を呼び掛けた。

昨年5月末までに蹴球部と女子サッカー部の卒業生700人以上から約2000万円が集まった。また、同6月からのクラウドファンディングでは、1286人から目標の

1000万円を大きく上回る1800万円以上が寄付された。

大学の予算と合わせ約9000万円の資金が確保でき、改修工事が実現した。山内選手は「ピッチの凸凹がなくなり、プレーしやすくなった。支援してくださった方々への感謝を忘れず結果で恩返ししたい」と話した。(細井真生II社会学類4年、衣笠有紀II心理学類3年)

国際卓越研究大学テーマに

「Vision2030」関連シンボル

開学50周年を迎える筑波大の「未来の姿」を考えるシンボル「Vision2030」の関連シンボルが、そのおもしろい「?」が3月6日、総合研究棟Aで開かれ、対面オンライン合わせ約70人の教職員や学生が参加した。

「グローバルトラスの創出(人と人、人と社会など)の間の真の信頼関係の創出」を掲げる「筑波大学Vision2030」の関連企画として、大学経営推進局が主催した。

政府が10兆円規模の大学ファンドを運用し、その運用益を原資に、1校当たり年間数百億円とされる助成金が配分されるのが、国際卓越研究大学だ。

文部科学省は今年度中に対象校を数校選び、2024年度から助成を開始する予定だ。対象となるには文科省が掲げる研究実績や財政基盤などの基準をクリアし、世界最高水準の研究成果が期待される大学(国際卓越研究大学)として認定される必要がある。

シンボルでは、同局アソシエイトの教員5人が登場。また、ウェブを通じて参加者に匿名のアンケートを行いながら進化した。回答はオンラインで集計され、その場で次々に表示されていった。

筑波大が国際卓越研究大学に認定された30年代という状況を仮想。「あなたが学長でお金の制限がなくなったら何をしたい?」というテーマでは、「大学の拠点海外にする」「学生にどんな支援する」などの自由な意見が飛び交った。

「研究力を強化するためアイデア」についての議論で、重田直樹教授(計算科学研究センター)は「各研究センターが研究の妨げにならない」と提案した。

同局は昨年12月、「Vision2030」のスピリアウト企画として「筑波大学×夢」と題したシンボルを公開。若手教職員の大胆な意見を聞く狙いで、今回はその第2弾となった。

局長の猿渡康文教授(ビジネス系)は「今年度はシンボルを定期的な開催するだけでなく、教職員の声を幅広く集め、ビジョンの実現につなげていきたい」と抱負を語った。(憲元愛香II心理学類3年、加藤藤)

卒業式 マスク着用求めず

4260人が巣立ち

令和4年度卒業式・大学院学位授与式が3月24日、大学会館講堂で行われた。学群生2145人、大学院生2103人、理療科教員養成施設生12人が卒業・修了した。3年ぶりに、出席できる卒業生を制限せず、他の出席者と会話する際以外は会場内でのマスク着用も求めなかった。

午前8時30分に開かれた学群生の卒業式が、午後は大学院の学位授与式が行われ、共に立ち向かえる仲間がいた。新型コロナウイルス対策で、式典出席者は卒業生と修了生に限った。会場に入れない家族などのために、YouTubeで式典の様子がライブ配信された。

永田恭介学長は第一部の式辞で「筑波大で身に付けた幅広い学識と鋭い専門力、そして強靱な自立心を基盤に、TSUKUBAから世界に飛び出し、人と地球の未来を切り開いていく皆さんの今後の努力に期待したい」とエールを送った。その後、卒業生代表が「世間はさまざまな問題に直面している。しかし不安定不確実な時代であっても、共に立ち向かえる仲間がいた。振り返った。」と語り、16面に関連写真(加藤藤、16面)

新型コロナウイルス対策で、式典出席者は卒業生と修了生に限った。会場に入れない家族などのために、YouTubeで式典の様子がライブ配信された。

永田恭介学長は第一部の式辞で「筑波大で身に付けた幅広い学識と鋭い専門力、そして強靱な自立心を基盤に、TSUKUBAから世界に飛び出し、人と地球の未来を切り開いていく皆さんの今後の努力に期待したい」とエールを送った。その後、卒業生代表が「世間はさまざまな問題に直面している。しかし不安定不確実な時代であっても、共に立ち向かえる仲間がいた。振り返った。」と語り、16面に関連写真(加藤藤、16面)

DTF機構 設立1周年シンポ

CO₂削減プロジェクト発表

筑波大の「DESIGN THE FUTURE機構(DTF機構)」は3月13日、設立1周年記念シンポジウム「カーボンニュートラル社会の実現に向けた筑波大学の挑戦」を開催した。国連の持続可能な開発目標(SDGs)を巡る学生の活動紹介や、温室効果ガス排出量を削減するためのカーボンニュートラルに関するパネルディスカッションなどが行われ、対面とオンライン合わせて計約1000人が参加した。

(天野集太比較文化学類4年、写真も)

DTF機構は筑波大の研究成果や人材を生かし、地豊彦・技術総括審議官が来球規模の課題解決に貢献することを目指している。機構長の西尾チツル教授(ヒジネス系)の下、研究推進部や国際産学連携本部、教育推進部など学内11部署の代表者が構成される。

シンポジウムでは、永田恭介学長が「SDGsに関する筑波大のさまざまな取り組みを社会に発信していく必要がある」と話した。DTFの実現に関する活



動を紹介した。パネルディスカッションでは、石田政義教授(シス)が登壇。再生可能エネルギーなどの活用し、地域で生み出したエネルギー資源を地域内で消費する「エネルギーの地産地消」を実現するための取り組みなど、カーボンニュートラルに関する自身の研究を発表した。その後の議論では、「総合大学だからこそ、文理を問わずさまざまな知見を組み合わせて考えるべきだ」との意見が出た。

シンポジウムの締めくくりとして、西尾機構長が2023年度に取り組み「筑波大学CO₂削減プロジェクト」を発表した。学生食堂のメニューにカーボンフットプリント(CFP)を表示する仕組みを、各メニューの二酸化炭素(CO₂)排出量を可視化するといった環境負荷の少ないメニューの開発や食品ロスの改善などの活用が期待されるという。CFPの算定はDTF機構が作成し、表示や活用方法などのアイデアを学生から募る。

西尾機構長は「皆さんのアイデアを生かして大学のCO₂削減を実現したい。積極的な提案を待っている」と話した。

カーボンフットプリント(Carbon Footprint of Products)の略称。製品の原材料調達から生産、廃棄、再利用に至るまでに排出される温室効果ガスをCO₂排出量に換算して表示する仕組み。

つくば市 小型自動運転車の実証実験 交通弱者の移動手段に



パーソナルモビリティに試乗する本紙記者(2月12日、つくばセンターで) = 及川千翔撮影

小型自動運転車の実証実験が3月3・13日、つくば駅(つくば市吾妻)周辺のペダストリアンデッキで行われ、約340人が試乗した。つくば市は昨年4月、先端技術を活用して社会課題の解決を目指す国の「スーパーシティ型国家戦略特区」に指定された。実証実験はその構想の一環で、高齢者などの交通弱者、通院や買い物をする際の移動手段として利用してもらいたいことを目指している。

(加藤緑)

今回の実証実験はつくばスマートシティ協議会が統括し、三菱電機(本社・東京都千代田区)やアイサンテクノロジ(本社・名古屋市中区)が協力した。使われた小型自動運転車は、定員2人のゴルフカート型1台と、1人乗りのパーソナルモビリティ2台。

ゴルフカート型は最大で時速19キロ、パーソナルモビリティは時速6キロで走行できるが、危険な場面ですぐに停車できるように、実証実験ではいずれも時速6キロ以下で走行した。

つくば市立中央図書館(つくば市吾妻)など、つくば駅周辺の4カ所を乗降場所に設定。それぞれ専用の予約端末を設置した。利用者は端末を操作し、車種と乗車人数及び目的地を選択する。

今回の実証実験はつくばスマートシティ協議会が統括し、三菱電機(本社・東京都千代田区)やアイサンテクノロジ(本社・名古屋市中区)が協力した。使われた小型自動運転車は、定員2人のゴルフカート型1台と、1人乗りのパーソナルモビリティ2台。

ゴルフカート型は最大で時速19キロ、パーソナルモビリティは時速6キロで走行できるが、危険な場面ですぐに停車できるように、実証実験ではいずれも時速6キロ以下で走行した。

つくば市立中央図書館(つくば市吾妻)など、つくば駅周辺の4カ所を乗降場所に設定。それぞれ専用の予約端末を設置した。利用者は端末を操作し、車種と乗車人数及び目的地を選択する。

今回の実証実験はつくばスマートシティ協議会が統括し、三菱電機(本社・東京都千代田区)やアイサンテクノロジ(本社・名古屋市中区)が協力した。使われた小型自動運転車は、定員2人のゴルフカート型1台と、1人乗りのパーソナルモビリティ2台。

ゴルフカート型は最大で時速19キロ、パーソナルモビリティは時速6キロで走行できるが、危険な場面ですぐに停車できるように、実証実験ではいずれも時速6キロ以下で走行した。

つくば市立中央図書館(つくば市吾妻)など、つくば駅周辺の4カ所を乗降場所に設定。それぞれ専用の予約端末を設置した。利用者は端末を操作し、車種と乗車人数及び目的地を選択する。

2023年度は8500部が印刷され、新入生全員に配布された。在学生も各エリア支援室で自由に受け取ることもできた。教育推進課によれば、経費は毎年数百万円だった。

しかし、紙媒体では年度初めの情報しか掲載できず、内容の更新に対応できない。廃棄となっているものも多かったという。また、従来からKdBやTWIN Sで科目の情報は検索できることもあり、各学群・学類長らが参加する学群教育会議(昨年10月18日)で紙媒体の廃止が決まった。

21年4月には、履修登録期間中にアクセスが集中するなどして、KdBが一時使用できなくなる不具合が生じた。紙媒体の廃止で、KdBなどへのアクセスが増えることが予想されるが、教育推進課の担当者は「先の不具合を受けて、対策を講じている」と話す。

(中谷美稀II人文学類2年)

今回の実証実験はつくばスマートシティ協議会が統括し、三菱電機(本社・東京都千代田区)やアイサンテクノロジ(本社・名古屋市中区)が協力した。使われた小型自動運転車は、定員2人のゴルフカート型1台と、1人乗りのパーソナルモビリティ2台。

ゴルフカート型は最大で時速19キロ、パーソナルモビリティは時速6キロで走行できるが、危険な場面ですぐに停車できるように、実証実験ではいずれも時速6キロ以下で走行した。

つくば市立中央図書館(つくば市吾妻)など、つくば駅周辺の4カ所を乗降場所に設定。それぞれ専用の予約端末を設置した。利用者は端末を操作し、車種と乗車人数及び目的地を選択する。

今回の実証実験はつくばスマートシティ協議会が統括し、三菱電機(本社・東京都千代田区)やアイサンテクノロジ(本社・名古屋市中区)が協力した。使われた小型自動運転車は、定員2人のゴルフカート型1台と、1人乗りのパーソナルモビリティ2台。

ゴルフカート型は最大で時速19キロ、パーソナルモビリティは時速6キロで走行できるが、危険な場面ですぐに停車できるように、実証実験ではいずれも時速6キロ以下で走行した。

つくば市立中央図書館(つくば市吾妻)など、つくば駅周辺の4カ所を乗降場所に設定。それぞれ専用の予約端末を設置した。利用者は端末を操作し、車種と乗車人数及び目的地を選択する。

新任人事

- 【副学長】 研究担当II重田育昭▽学生担当II本間三和子▽国際担当II池田潤▽企画評価・広報担当・附属図書館長II西尾チツル▽附属学校教育局教育長II呑海紗織
- 【大学執行役員】 スポーツマネジメント担当II高木英樹(体育系)
- 【専攻長】 「人文社会ビジネス科学術院」国際経営学部ロフエッシュショナル専攻長(専門職学位課程)IIマニエ・ワタナベ・レミー
- 【学類長】 (情報学群) 知能情報・図書館学類長II鈴木伸崇(図情学系)
- 【教育研究施設長の長】 放射線・アイソトープ地球システム研究センター長II恩田裕一(生環系)▽西アジア文明研究センター長II柴田大輔(人社系)▽トランスポーター医学研究センター長II川口敦史(医学医療系)▽エネルギー物質科学研究センター長II西堀英治(数物系)
- ▽研究基盤総合センター長II黒田眞司(数物系)
- 【附属学類長】 附属視覚特別支援学校校長II青木隆一
- 【学群・学類・学上課程学位プログラム】 「人文・文化学群」人文学類(人文・比較文化学類(比文)・日本語・日本文化学類(日語))「社会・国際学群」社会学類(社会学)国際総合学類(国際)(人間学群)教育学類(教育)心理学類(心理)障害科学類(障害)生命環境学群(生物学類(生物)生物学資源学類(資源)地球学類(地球)理工学群(数学)物理学類(物理)化学類(化学)応用理工学類(応理)工学システム学類(工)「社会工学群」社会学類(社会)総合理工学学位プログラム(総合理工)(情報学群)情報科学類(情報)情報メディア創成学類(又創)知能情報・図書
- 館学類知能(医学群)医学類(医学)看護学類(看護)医療科学類(医療)▽体育専門学群(体育)▽芸術専門学群(芸専)▽(総合学域群)第1学類(第1類)第2学類(第2類)第3学類(第3類)▽グローバル教育院 地球規模課題学学位プログラム(地球)【学術院・研究群・学位プログラム・専攻】「人文社会ビジネス科学術院」人文社会科学学群(人社群)人文科学学位プログラム(人文P)国際公共政策学位プログラム(国公P)国際日本研究学位プログラム(国日P)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)法学学位プログラム(法学P)経営学学位プログラム(経営P)法曹専攻(法曹)国際経営学部ロフエッシュショナル専攻(理工情報生学学位プログラム衛生P)ヒューマン・ケア科学学位プログラム(ケアP)パブリックヘルス学位プログラム(ヘルSP)スポーツ医学学位プログラム(スポ医P)体育学学位プログラム(化学P)応用理工学学位プログラム(応理P)国際マテリアルズイノベーション学位プログラム(マテリアルP)▽システム情報工学位研究群(システム情報工学)工学学位プログラム(工)サイエンス学位プログラム(サイエンス)工学学位プログラム(工学)生命農学学位プログラム(生農P)生命産業科学学位プログラム(生命産業P)地球科学学位プログラム(地球)環境科学学位プログラム(環境)環境学学位プログラム(環境P)山岳科学学位プログラム(山岳P)ライフイノベーション(食料革新)学位プログラム(LI食P)ライフイノベーション(環境)学位プログラム(LI環P)ライフイノベーション(生体分子材
- 料)学位プログラム(LI材P)国際連携持続環境科学専攻(連携持続)「人間総合科学術院」人間総合科学群(芸専)▽(総合学域群)第1学類(第1類)第2学類(第2類)第3学類(第3類)▽グローバル教育院 地球規模課題学学位プログラム(地球)【学術院・研究群・学位プログラム・専攻】「人文社会ビジネス科学術院」人文社会科学学群(人社群)人文科学学位プログラム(人文P)国際公共政策学位プログラム(国公P)国際日本研究学位プログラム(国日P)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)法学学位プログラム(法学P)経営学学位プログラム(経営P)法曹専攻(法曹)国際経営学部ロフエッシュショナル専攻(理工情報生学学位プログラム衛生P)ヒューマン・ケア科学学位プログラム(ケアP)パブリックヘルス学位プログラム(ヘルSP)スポーツ医学学位プログラム(スポ医P)体育学学位プログラム(化学P)応用理工学学位プログラム(応理P)国際マテリアルズイノベーション学位プログラム(マテリアルP)▽システム情報工学位研究群(システム情報工学)工学学位プログラム(工)サイエンス学位プログラム(サイエンス)工学学位プログラム(工学)生命農学学位プログラム(生農P)生命産業科学学位プログラム(生命産業P)地球科学学位プログラム(地球)環境科学学位プログラム(環境)環境学学位プログラム(環境P)山岳科学学位プログラム(山岳P)ライフイノベーション(食料革新)学位プログラム(LI食P)ライフイノベーション(環境)学位プログラム(LI環P)ライフイノベーション(生体分子材
- 料)学位プログラム(LI材P)国際連携持続環境科学専攻(連携持続)「人間総合科学術院」人間総合科学群(芸専)▽(総合学域群)第1学類(第1類)第2学類(第2類)第3学類(第3類)▽グローバル教育院 地球規模課題学学位プログラム(地球)【学術院・研究群・学位プログラム・専攻】「人文社会ビジネス科学術院」人文社会科学学群(人社群)人文科学学位プログラム(人文P)国際公共政策学位プログラム(国公P)国際日本研究学位プログラム(国日P)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)▽ビジネス科学研究群(ヒジネスP)法学学位プログラム(法学P)経営学学位プログラム(経営P)法曹専攻(法曹)国際経営学部ロフエッシュショナル専攻(理工情報生学学位プログラム衛生P)ヒューマン・ケア科学学位プログラム(ケアP)パブリックヘルス学位プログラム(ヘルSP)スポーツ医学学位プログラム(スポ医P)体育学学位プログラム(化学P)応用理工学学位プログラム(応理P)国際マテリアルズイノベーション学位プログラム(マテリアルP)▽システム情報工学位研究群(システム情報工学)工学学位プログラム(工)サイエンス学位プログラム(サイエンス)工学学位プログラム(工学)生命農学学位プログラム(生農P)生命産業科学学位プログラム(生命産業P)地球科学学位プログラム(地球)環境科学学位プログラム(環境)環境学学位プログラム(環境P)山岳科学学位プログラム(山岳P)ライフイノベーション(食料革新)学位プログラム(LI食P)ライフイノベーション(環境)学位プログラム(LI環P)ライフイノベーション(生体分子材

筑波大学新聞での組織の略称

- 【学群・学類・学上課程学位プログラム】 「人文・文化学群」人文学類(人文・比較文化学類(比文)・日本語・日本文化学類(日語))「社会・国際学群」社会学類(社会学)国際総合学類(国際)(人間学群)教育学類(教育)心理学類(心理)障害科学類(障害)生命環境学群(生物学類(生物)生物学資源学類(資源)地球学類(地球)理工学群(数学)物理学類(物理)化学類(化学)応用理工学類(応理)工学システム学類(工)「社会工学群」社会学類(社会)総合理工学学位プログラム(総合理工)(情報学群)情報科学類(情報)情報メディア創成学類(又創)知能情報・図書
- 【系】 人文社会科学系(人社系)ビジネス系(ビジネス系)数理学類(数物系)システム情報系(システム情報系)生命科学系(生命科学系)人間系(人間系)体育系(体育系)芸術系(芸術系)医学医療系(医学医療系)図書情報メディア系(図情系)学際研究系(学際系)

紙媒体を廃止

筑波大が開設する授業の概要や担当教員などを記載

学群開設授業科目一覧

2023年度は8500部が印刷され、新入生全員に配布された。在学生も各エリア支援室で自由に受け取ることもできた。教育推進課によれば、経費は毎年数百万円だった。

しかし、紙媒体では年度初めの情報しか掲載できず、内容の更新に対応できない。廃棄となっているものも多かったという。また、従来からKdBやTWIN Sで科目の情報は検索できることもあり、各学群・学類長らが参加する学群教育会議(昨年10月18日)で紙媒体の廃止が決まった。

21年4月には、履修登録期間中にアクセスが集中するなどして、KdBが一時使用できなくなる不具合が生じた。紙媒体の廃止で、KdBなどへのアクセスが増えることが予想されるが、教育推進課の担当者は「先の不具合を受けて、対策を講じている」と話す。

(中谷美稀II人文学類2年)

記者の声



車谷郁実

【一面参照】筑波大はコンプライアンス・ハラスメント対策を新設した。ハラスメント対応可能な学外相談窓口も設けられた。

筑波大が学外相談窓口設置 多様な事案への対応が必要

「ハラスメント」の名を冠した組織ができ、相談窓口も広がったこと、筑波大の構成員が相談しやすい環境が生まれつつあるのではないかと学びやすく働きやすいキャンパスづくりにつながることを期待したい。本紙は今年3月、ハラスメントに関する学内アンケートを実施した。集計結果を見て感じたのは、ハラスメントの形態は多様だということだ。一昨年12月に実施した学内アンケートをみると、ハラスメントの形態は多様だと感じられた。一方、学生へのアンケート結果で感じたのは、ハラスメント相談センターの認知度の低さだ。学生の回答者の6割が筑波大の「ハラスメント相談センター」を知らない」と答えた。アンケートの回答者で、所属

筑波時評

回転しチェーン「スロー」で撮影された迷惑行為の動画が拡散されていたこともあり、一連の騒動は「すしテロ」と呼ばれるようになった。それに伴い「すしベロ」なども知られて、批判の声も過熱している。

視覚的匿名性高いネット 行き過ぎた自己提示招く

似たような事件が起きた。「ローソン高知鴨部店」の男性アルバイト店員(当時)が売り場のアイスクリーム用冷凍庫に入っていた。対面に比べてオンライン上で、視覚的匿名性が高い。その一方で、不特定多数の人が自身の投稿を閲覧・反応することに対して過少評価する傾向がある。そして、称賛欲求の高人がなくさんの「いいね」をもらうために、行き過ぎた自己提示や過激な行動をとりやすくなる。これは多くの先行研究で報告されていることだ。しかし、視覚的匿名性が高い

反射鏡

マスク着用どうする

政府は新型コロナウイルス感染症対策のマスク着用ルールを見直した。これまでは、屋内でのマスク着用を推奨してきたが、今年3月13日からは個人の判断に委ねられた。ただし、医療機関の受診や高齢者施設への訪問、混雑した電車やバスを利用する際などは引き続きマスクの着用を奨励している。筑波大生はマスクの着用についてどう考えているのか。中央図書館前などで聞いた。(衣笠有紀、高元愛香 心理学類3年、加藤緑 生物学類2年)

地元の給食の思い出

日本全国から学生が集まる筑波大。春休みに実家に帰る、懐かしい郷土料理に舌鼓を打ったという学生も多いのではないかと。筑波大生は出身地ならではの給食に、どんな思い出があるのだろうか。中央図書館前などで聞いた。(久玉佳純 比較文化学類3年、川上真生 社会学類2年、衣笠有紀、高元愛香 心理学類3年)

同窓生投稿募集

開学50周年を記念して「筑波大の思い出」というテーマで投稿を募集します。「今だからこぞ言える」「〇〇が忘れられない」。そんなエピソードをお待ちしています。

- 【募集期間】2023年8月末まで
- 【連絡先】shinbun@un.tsukuba.ac.jp
- 【本文】150~200字程度
- 卒業・修了年次や当時の所属・性別(男性・女性・その他)・連絡先を別途ご記入の上、お寄せください。



大学生生活の集大成そろろう 力作213点 来場者魅了

卒業・修了制作展

筑波大の「令和4年度芸術専門学群卒業制作展」大学院人間総合科学芸術学部プログラム(博士前期課程)「修了制作展」が2月7日、3月5日(つくば美術館)で開かれた。学群生と大学院生が在学中に取り組んだ制作や研究の成果を披露する場で、卒業生99人、修了生42人の作品や論文計213点が4期に分けて展示された。期間中、延べ約5500人が訪れた。

2月7〜12日の卒業制作「芸術支援の論文、洋画や日品が展示された。展前期日程では、美術史や「本画、彫塑、書、版画の作」寺田開さん(令和4年)



寺田さんの筑波大学芸術賞受賞作品「Viewpoints」(2月12日、つくば美術館で) = 高元愛香撮影

筑打！3年ぶり

打楽器のみで多彩な音楽を披露

打楽器アンサンブル団体「筑打！」のコンサートが2月19日(つくばカピオ)つくば市竹園で3年ぶりに開かれた。40種類を超える多彩な打楽器が奏でる演奏



本番で、それぞれの打楽器を打ち鳴らす奏者たち(2月19日、つくばカピオ)

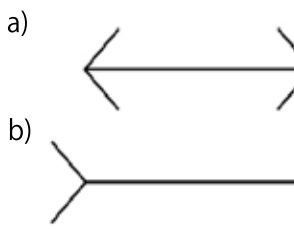
「筑打！」は、筑波大学吹奏楽団や管弦楽団の打楽器奏者らが集まった団体で、この日は総勢24人で全13曲を披露した。

「筑打！」代表の宮田桃佳さん(障書4年)は「メンバーのバックグラウンドが違えば、楽器のたたき方やリズムの取り方も異なる。その分、楽曲の幅が広がる。打楽器だけの演奏会だが、多彩な音を表現できたのではないかと話した。(高元愛香 写真)

「おじわり」は休まず。芸術の森は休まず。

原田悦子 教授 (認知心理学)

人間系・教授。筑波大学院心理学研究科修了。博士(教育学)。法政大教授などを経て、2010年より現職。



【ミュラー・リヤーの錯覚】矢羽根の間の線の長さと同じだが、bのほうが長く見える

れがもう一ひねり変化したのは、大学院を終わる時にいたいた就職の機会だ。その頃の多くの就職先は「地方の小さな大学」だった。しかし、そういうお話もなかなかないよ

消化しきれない経験を入の形にして描いた。制作は悩みや心の傷と向き合うきっかけになった」と話した。

寺田さんは「自分自身の、消しきれない経験を人の形にして描いた。制作は悩みや心の傷と向き合うきっかけになった」と話した。

筑波大学吹奏楽団の「クラリネットアンサンブルコンサート2023」が2月24日、つくばカピオ(つくば市竹園)で開かれ、総勢30人が出演した。約100人の聴衆が、クラリネットならではの柔らかな音色に酔いしれた。

第1部はクラリネットアンサンブルの演奏、第2部はクラリネットアンサンブルの演奏、第3部はクラリネットアンサンブルの演奏。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

度芸術専門学群卒)は「Viewpoints」と題した3枚の版画(各縦91センチ、横72・3センチ)を出展し、最優秀賞となる筑波大学芸術賞に選ばれた。

作品は樹脂板を用いて刷った。版を縦状にひっかけたり、塗料を使ってカラーシュリなどして、多様なテクニクを表現した。

寺田さんは「自分自身の、消しきれない経験を人の形にして描いた。制作は悩みや心の傷と向き合うきっかけになった」と話した。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。

「心理学の研究って面白」と最初に思ったのは、学類1年生の授業で、ロニア、英国、アルデアの曲が演奏された。



2月23日、つくば市沼田で

筑波山は梅の名所である。斜面に広がる梅林から見下ろすつくばの景色も良いものだ。筑波山に見守られながら、筑波大での生活を楽しくしてほしい。「入学」や「新入生」も春の季節となっている。

筑波山は梅の名所である。斜面に広がる梅林から見下ろすつくばの景色も良いものだ。筑波山に見守られながら、筑波大での生活を楽しくしてほしい。「入学」や「新入生」も春の季節となっている。

筑波山は梅の名所である。斜面に広がる梅林から見下ろすつくばの景色も良いものだ。筑波山に見守られながら、筑波大での生活を楽しくしてほしい。「入学」や「新入生」も春の季節となっている。

筑波大学新聞 新人記者募集!

筑波大学新聞では学生の活躍や先端研究、学内外のニュースなどを学生が報じます。

撮影



取材



執筆



【新歓】

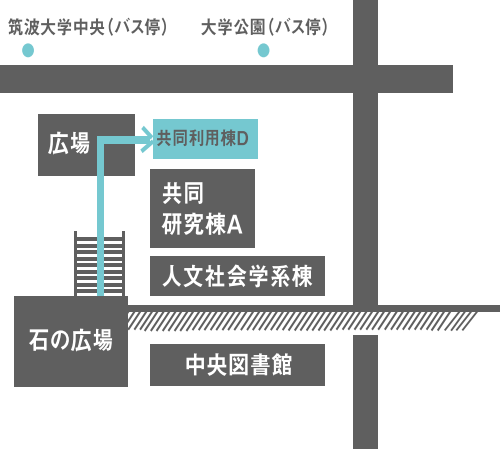
先輩とのお話し会、カメラ講習会...

※新歓祭本祭(4月8日)第1部でも

【編集会議】 SNSやメールで見学受付中!

場所: 共同利用棟D104の編集室

時間: 毎週月曜午後6時半から



TEL: 029-853-6699
MAIL: shinbun@un.tsukuba.ac.jp

Twitter @ut_shimbun

Instagram university_of_tsukuba_shimbun



Twitter



Instagram



過去紙

2年生に突撃インタビュー 筑波大学新聞って 何してるの?

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

【メンバー紹介】
加藤緑記者(生物2年) 埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者(社会学2年) 高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者(人文2年) 約6000人のフォロワー(3月30日現在)を抱える本紙のSNS(ネット交流サービス)運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼任している。芸芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

【メンバー紹介】
加藤緑記者(生物2年) 埼玉生まれ、マレーシア育ち。日・英・中・マレー語の4カ国語を操り、留学相手の取材をこなす。2年生唯一の理系部員。宅通。総合面のキャップ。
川上真生記者(社会学2年) 高校生時代に新聞部で部長を務め、100人以上の部員をまとめたつわもの。高校生記者としてラジオやテレビに出演経験も。筑波大開学50周年特集企画のキャップ。
中谷美稀記者(人文2年) 約6000人のフォロワー(3月30日現在)を抱える本紙のSNS(ネット交流サービス)運営担当。本紙を代表する一面コラム「筑波おろし」を1年生にして2回執筆した文才を持つ。クラ代の議長も兼任している。芸芸面のキャップ。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

まで、指導を直接受けることができます。情報を提示する順番など、読み手を意識した書き方を知り、文章力向上を実感しました。中谷 3年生の多くが2年生時に入ったこともあり、2年生との上下の垣根があまりありません。部員仲がよいのも魅力です。——どんな人が記者に向いていると思いますか? 全員 ニュースに対する関心や、多くの人に伝えたいという気持ちさえあれば、誰でもできます。不安な点は先輩がサポートするので大丈夫です。——最後に、新入生に向けて一言お願いします! 加藤 取材・執筆・撮影・編集とさまざまなことができる大学新聞で、ぜひ新しいことに挑戦してください。川上 あなたも筑波大の構成員を笑顔にできる記事を書きませんか。一緒に取材できるのを待っています。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

「記者に興味がある。でも、具体的に何をやるのかわからない」私でもできるかな。あまりなじみのない「記者」という仕事にピンと来ない新入生諸君も多いかと思う。そんな時は先輩に話を聞いてみよう!というわけで、筑波大学新聞で活躍する3人の2年生部員に、記者生活について突撃インタビューした。

農業から宇宙まで研究機関の常設展示を紹介 科学の街・つくばを巡る

各施設へのアクセス情報

施設名	開館時間	休館日	アクセス (つくばセンターから)	予約
地図と測量の科学館	午前9時半 午後4時	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/3)	関東鉄道バス(関鉄バ ス)「建築研究所」行 「国土地理院」下車 など	不要
筑波実験植物園	午前9時 午後4時半 (入園は 午後4時まで)	月曜日(祝日・休日の場合 は開園)、祝日・休日の翌日 (土日の場合は開園)、 年末年始(12/28~1/4)	関鉄バス筑波大学循環 「天久保2丁目」下車、 徒歩8分 など	不要
サイエンス・スクエア つくば	午前9時半 午後5時	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/4)、 その他臨時休館日	関鉄バス「荒川沖駅 (西口)」または「阿 見中央公民館」行 「並木2丁目」下車、 徒歩5分	不要
地質標本館	午前9時半 午後4時半	月曜日(祝日の場合は その翌日)、年末年始 (12/28~1/4)	関鉄バス「荒川沖駅 (西口)」行「物質材 料研究機構」下車、 徒歩1分	不要
筑波宇宙センター	午前10時 午後5時	不定期、 年末年始(12/29~1/3)	関鉄バス「荒川沖駅 (西口)」行「物質材 料研究機構」下車、 徒歩1分	不要
筑波大学ギャラリー	午前9時 午後5時	土日・祝日、 年末年始(12/28~1/4)	関鉄バス筑波大学循環 「大学会館前」下車	事前予約制 (電話029-853-7959、 メールsomu-daigaku kaikan@unt.souba.ac.jp)
食と農の科学館	午前9時 午後4時	土日・祝日、 年末年始(12/28~1/4)、 その他臨時休館日	つくバス南部シャトル 「荖崎老人福祉セン ター」行「農林団地中 央」下車、徒歩5分	団体は要予約
KEK コミュニケーション プラザ	午前9時半 午後4時半	年末年始、夏季休業期間	つくバス北部シャトル 「筑波山口」行「高エ ネルギー加速器研究機 構」下車、徒歩2分	不要

※筑波実験植物園のみ有料、筑波大生は学生証の提示により無料
(一般・大学生320円、高校生以下無料。団体20人以上は別料金)

(取材を基に作成)

ツアーバスでお得に見学



サイエンスツアーバス(2月26日、筑波実験植物園で) = 川上真生撮影

筑波大を中核に国関係だけでなく約30の研究・教育機関が立地するつくば市。その多くが、見学可能な展示施設を備えている。コロナ下で事前予約が必要なおも、ここに来て不要となる施設も増えている。せっかくの春、「科学の街」を歩き、最先端の研究成果や科学技術のこれまでの歩みに触れてみてはいかがだろうか。(川上真生) 社会学類、衣笠有紀、高元愛香(心理学類)、加藤緑(生物学類)

つくば市内の研究施設を「地図と測量の科学館」やひとまず概観するなら、土曜・日曜・祝日(年末年始を除く)に運行している「サイエンスツアー」など、六つの研究施設を巡る。大人1日500円、小学生同250円の利用が便利でお得だ。つくばセンター(つくば市吾妻)のバスターミナルが発着点で、国土地理院の

「サイエンス・スクエア」は、茨城県科学技術振興財団が運営する「つくばサイエンスツアー」オフィスの(同市竹園)のスタッフが同行し、各施設を案内するコースもある。その「同行コース」を密着取材した。

「日本列島球体模型」がある。20万分の1の縮尺で、産総研は日本の産業や社会に役立つ技術の創出や実用化に取り組む日本最大級の公的研究機関で、経済産業省の所管。回スクエアの

「サイエンス・スクエア」は、国立科学博物館筑波実験植物園を経由し、一旦つくばセンターに立ち寄り、そこから各施設を巡る。参加者は、プラネタリウムなどがある最寄りの「つくばエキスポセンター」に足を運んでもいい。その後、向かうのが産業技術総合研究所(産総研)の「サイエンス・スクエア」だ。

産総研は日本の産業や社会に役立つ技術の創出や実用化に取り組む日本最大級の公的研究機関で、経済産業省の所管。回スクエアの

「サイエンス・スクエア」は、国立科学博物館筑波実験植物園を経由し、一旦つくばセンターに立ち寄り、そこから各施設を巡る。参加者は、プラネタリウムなどがある最寄りの「つくばエキスポセンター」に足を運んでもいい。その後、向かうのが産業技術総合研究所(産総研)の「サイエンス・スクエア」だ。

地図と測量の科学館

最初に訪れたのが国土地理院の「地図と測量の科学館」だ。国土地理院は日本唯一の国家地図作成機関で、同科学館では、その活動が紹介されている。

1階にあるのが「日本列島空中散歩マップ」だ。3Dメカネで見ると、日本の山脈や周辺の海溝などが立体視できる。列島を東西に分ける糸魚川-静岡構造線などの断層帯も示されている。「構造線周辺は地震が起きやすい」と案内役の高野麻希さんが説明する。館外には直径約22メートルの「日本列島球体模型」がある。20万分の1の縮尺で、

サイエンス・スクエア

「サイエンス・スクエア」は、国立科学博物館筑波実験植物園を経由し、一旦つくばセンターに立ち寄り、そこから各施設を巡る。参加者は、プラネタリウムなどがある最寄りの「つくばエキスポセンター」に足を運んでもいい。その後、向かうのが産業技術総合研究所(産総研)の「サイエンス・スクエア」だ。

地質標本館

「地質標本館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴



つくば市内の研究機関の主な常設展示など

サイエンスツアーバスの対象施設以外にも、見学可能な施設は多数ある。その中からお勧めの場所をいくつか紹介したい。

筑波大学ギャラリー

筑波大関係者の業績などを紹介する展示施設が、大学会館内の「筑波大学ギャラリー」だ。コロナ禍で公開が中止されていたが、4月に再開した。今年10月の開学50周年に合わせ、展示更新も予定されている。

筑波大ゆかりのノーベル賞受賞者3人の業績や歩み

ノーベル賞受賞者ゆかりの品



ノーベル賞メダルのレプリカ(3月15日、筑波大学ギャラリーで) = 川上真生撮影

「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴

「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴



「食と農の科学館」の展示

「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴

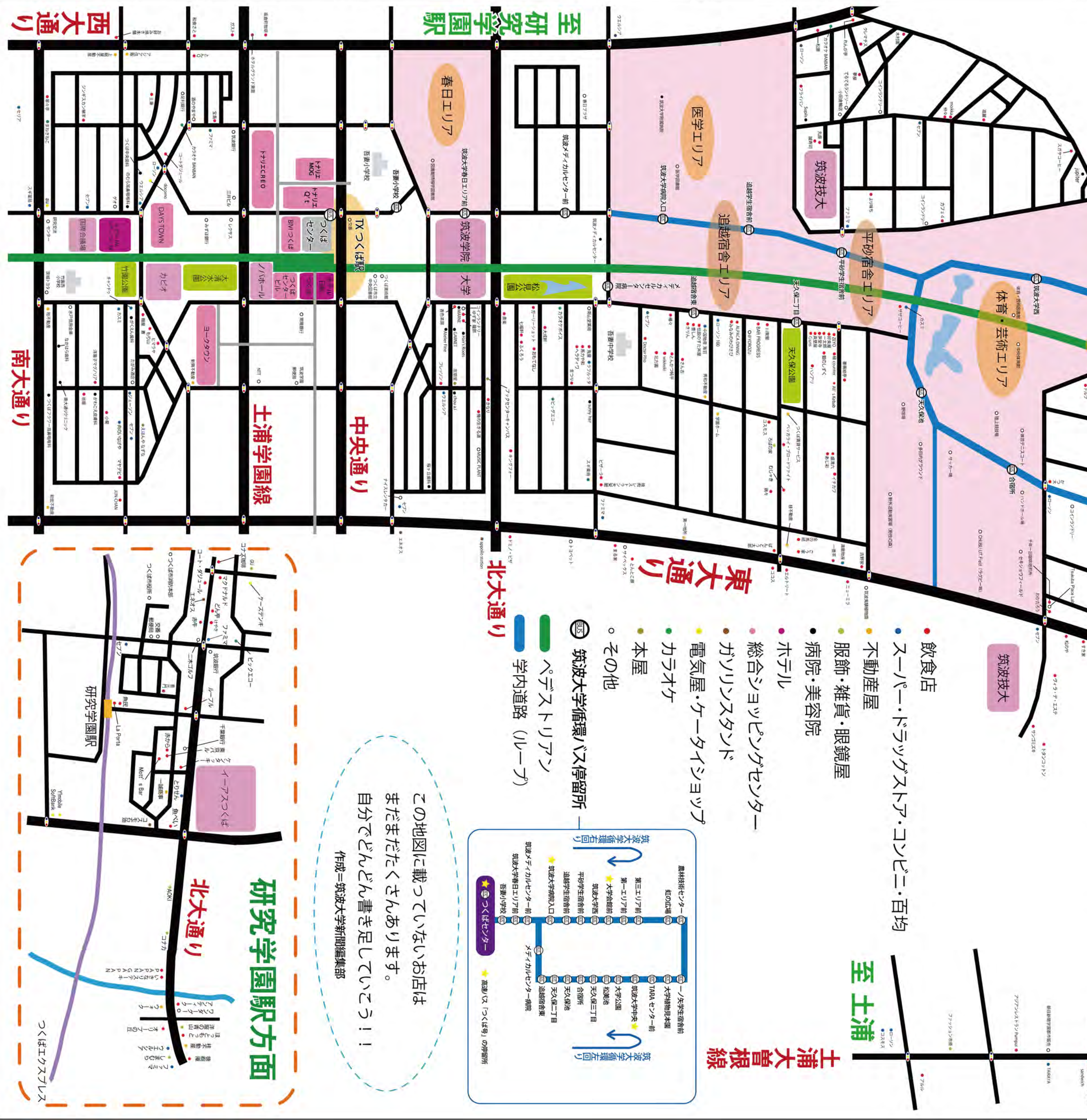
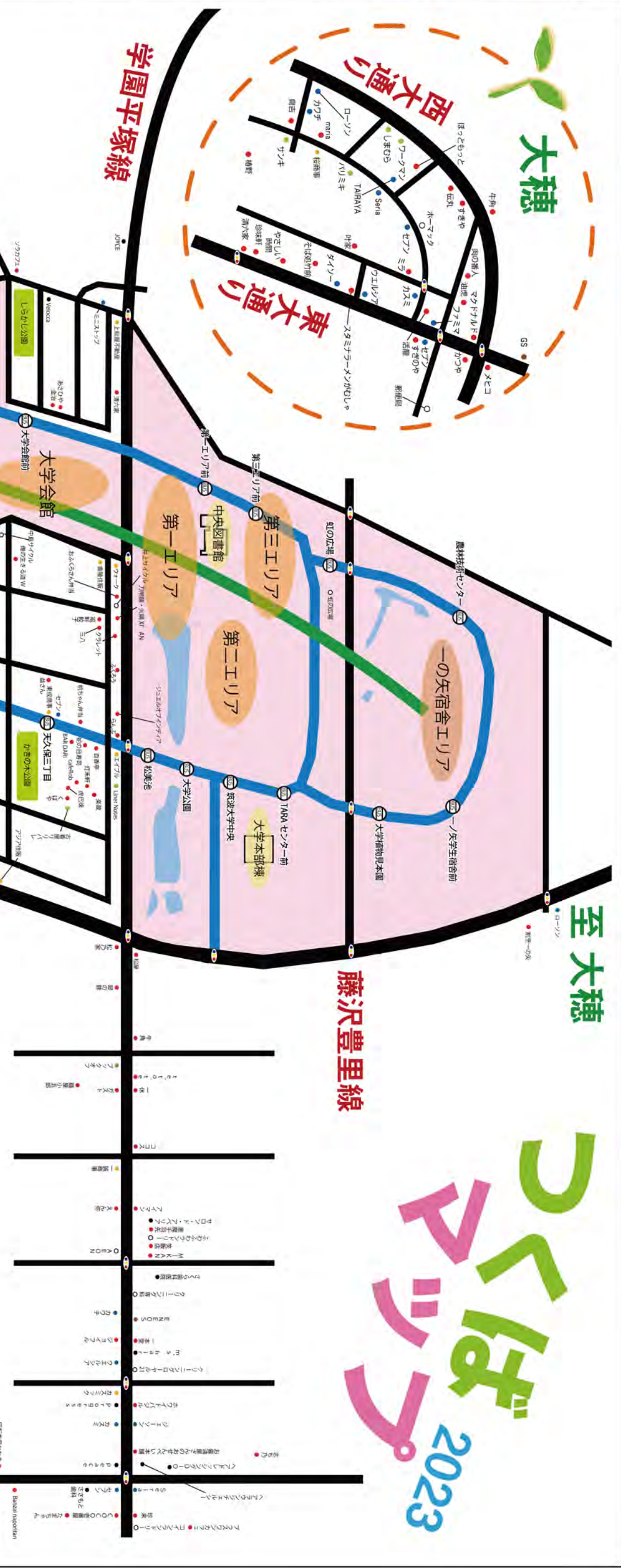
「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴

「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴

「食と農の科学館」は、産総研の地質標本館だ。産総研のルーツは1889年に設置された農商務省地質調査所(現産総研地質調査総合センター)にさかのぼる。同標本館は、以来140年以上にわたる地質調査の成果を展示している。鉱物、化石など約2000点の標本の他、展示パネルや地質模型、映像機器などもあり、視覚に訴

サイエンスツアー

「サイエンスツアー」は、国立科学博物館筑波実験植物園を経由し、一旦つくばセンターに立ち寄り、そこから各施設を巡る。参加者は、プラネタリウムなどがある最寄りの「つくばエキスポセンター」に足を運んでもいい。その後、向かうのが産業技術総合研究所(産総研)の「サイエンス・スクエア」だ。



つくばMAP 2023

- 飲食店
- スーパー・ドラッグストア・コンビニ・百貨
- 不動産屋
- 服飾・雑貨・眼鏡屋
- 病院・美容院
- ホテル
- 総合ショッピングセンター
- ガリンスタンド
- 電気屋・ケータイショップ
- カラオケ
- 本屋
- その他

- 🚗 筑波大学循環バス停留所
- 🚶 ペDESTリアン
- 🚲 学内道路 (ループ)



この地図に載っていないお店は
まだまだたくさんあります。
自分でどんどん書き足していこう!!

作成＝筑波大学新聞編集部

研究学園駅方面

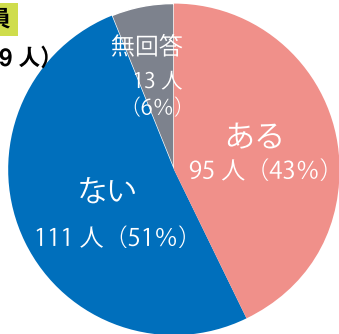


「ハラスメント」なくすために 本紙学内アンケート 学生や教職員に聞く

筑波大に入学した後(働き始めた後)、何らかのハラスメントと 感じられる対応を受けたことがあるか

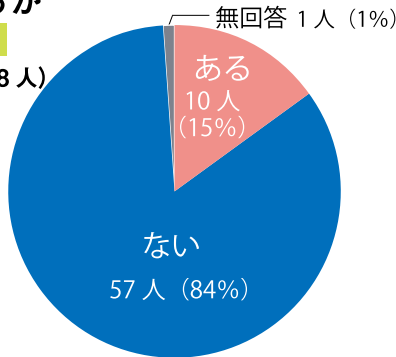
教職員

(計219人)



学生

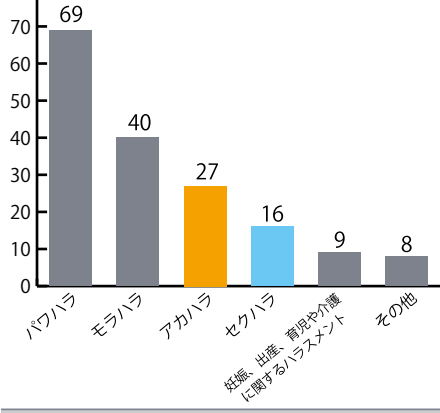
(計68人)



受けたと感じられたハラスメントの種類(複数回答可)

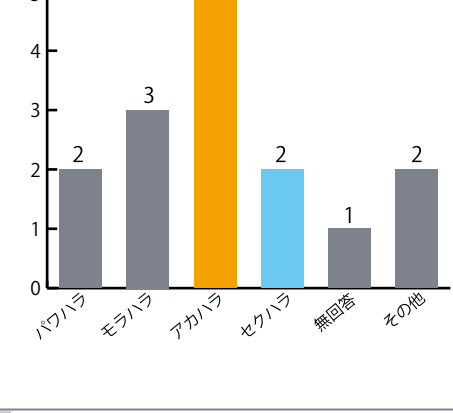
教職員

(人)



学生

(人)



教職員へのアンケート結果詳細

セクハラ

回答者219人のうち、16人がセクハラと感じられる対応を受けたことがある

内容(複数回答可)

性的な冗談やからかい	14人
不必要な身体への接触	6人
性的な言動に対して拒否・抵抗した事による不利益な扱い	2人

アカハラ

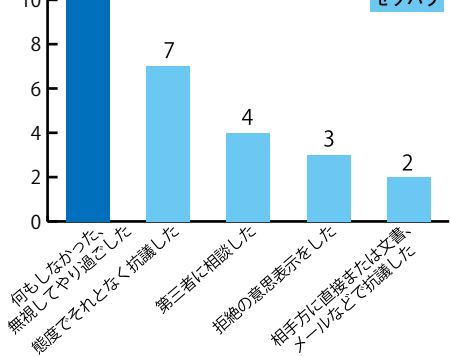
回答者219人のうち、27人がアカハラと感じられる対応を受けたことがある

内容(複数回答可)

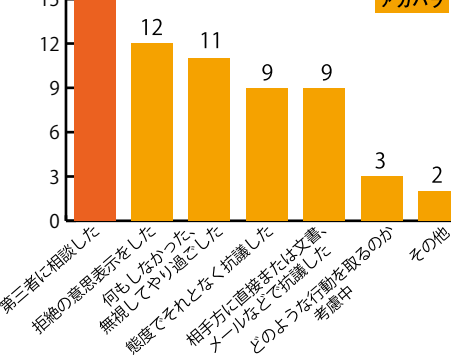
暴言や侮辱などの誹謗中傷	21人
陰口や馬鹿にしたような視線を送る	17人
勉強や研究の妨害	16人
無視などの仲間外し	9人
プライベートへの介入	2人
その他	1人

どのような対応をしたか(複数回答可)

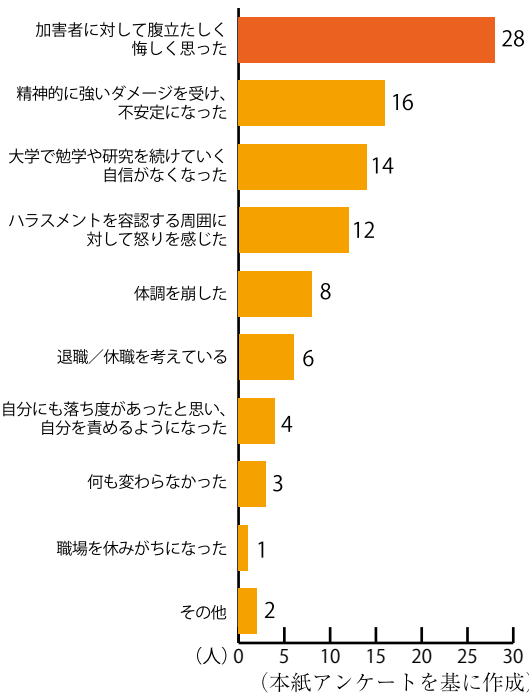
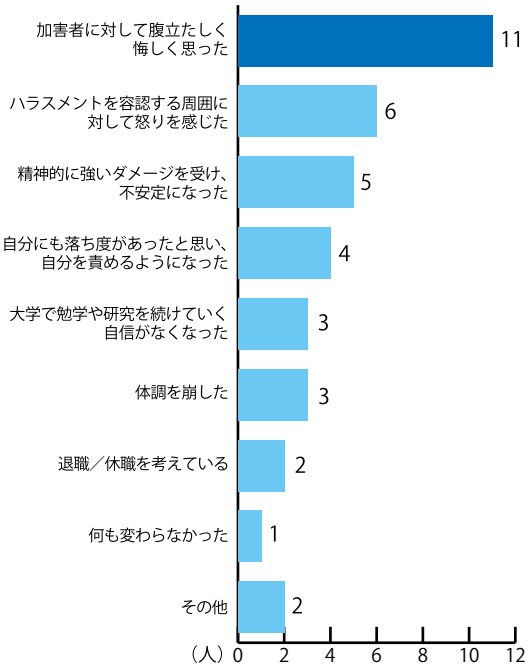
セクハラ



アカハラ



生活や考えにどのような影響があったか(複数回答可)



(本紙アンケートを基に作成)

本紙アンケート結果

アンケートは今年3月9〜16日に実施。教職員計219人、学生68人から回答を得た。

筑波大に入学・赴任してから「何らかのハラスメント」と感じられた対応を受けたことがある」と回答した教職員は95人(43%)、学生は10人(15%)だった。最大の5人(7%)で「モラハラ」が3人(4%)、「セクハラ」が2人(2%)だった。

教職員の回答者 4割が「経験あり」

「1面参照」嫌がらせやいじめを意味する「ハラスメント」。その対象は幅広く、誰もがその当事者になる可能性がある。ハラスメントをなくしていくことが、筑波大の構成員の能力発揮と成長につながる。本紙は今年3月、筑波大の教職員と学生にハラスメントに関するアンケートを行った。構成員のハラスメント体験やハラスメントに対する考えを共有することは、その一助になると考えてのことだ。その結果を詳報し、回答者の声や筑波大の対応、他大学の取り組みを紹介する。

(及川千翔||人文学類、川上真生、車谷都実||社会学類、加藤緑||生物学類)

「筑波大の教員(上司、先輩)10人、筑波大の職員(上司、先輩)6人と続いた。内容は「性的な冗談やからかい」が最も多く、自由記述では「飲み会の談笑中に臀部を触られた」「卑猥な印刷物を見せられた」などの回答があった。こうした経験に対し、11人が「被害者に対して腹立たしく悔しく思った」と答えたが、その一方で「その経験に対し」何もしなかった、無視してやり過ごした」と10人が回答した。同じ教職員で、アカハラと感じられる対応を受けた相手はセクハラ同様上司や先輩から多く、「筑波大の教員(上司、先輩)25人、筑波大の職員(上司、先輩)4人だった。具体例としては「専門性を無視した配置転換が行われた」「授業やゼミで人格を否定する発言をされた」などの回答があった。一方、受けた後の対応は、「第三者に相談した」が最も多い15人だった。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「筑波大のハラスメント対応」の相談窓口となっているのは、学内の相談窓口に行っても意味がないと思った。どこに相談すればいいかわからなかった」と話した。アンケートでは「この程度で相談していいか」という声がある。相談するかどうかは、相談内容が「ハラスメント相談センター」だ。4月の組織改革で、組織・職員課からコンプライアンス・ハラスメント対策室の所管になった。卒業生や退職した教職員も、在籍中に受けたハラスメントの相談ができる。

同センターでは、専門資格を持つカウンセラー1人と学内では、教職員から選ばれたハラスメント相談員が苦情相談にあたる。現在は筑波キャンパスに21人、東京キャンパスに25人の相談員が置かれている。それぞれの相談内容に適切だと考えられ得る対応策をとり、問題解決を目指す。4月に新設された学外窓口での相談も可能だが、筑波大に在籍中の学生と教職員に限られる。相談者が希望した場合は、相談内容が望ましい場合は、相談内容が対策室に共有され、その後組織から選ばれた教職員からは学内窓口への相談と同じ流れで対応が進む。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

「信頼できる相談相手の存在が救いに」加藤和彦副学長(総務)は「ハラスメント相談センター」や新たに設けた学外相談窓口をためらわずに利用してほしい。適切な相談先を紹介できる。今後も定期的に対策を見直しながら、より良いキャンパスづくりを推進していきたい」と話す。

筑波大の対策

筑波大は2005年に「ハラスメントの防止等に関する規程」を制定。20年には「ハラスメント防止宣言」を出し、ハラスメントのないキャンパスの実現を目指してきた。

全国ネットの会員に聞く

「全国ネット」の発生源は、全国の大学で初められた。被害者の救済も重視すべきだ。被害者やその周囲は、加害者の指導教員が...



上田智子講師 (聖徳大)



武田万里子教授 (津田塾大)

大学の閉鎖環境も影響

2021年からの閉鎖環境も影響。物理的にも閉鎖された環境に。研究室は物理的にも心理的にも閉鎖された環境に...

Hello! 先端研究



酒井宏教授

私たちは普段、自然の風景に含まれるさまざまな物体を、背景と切り分けて認識している。酒井宏教授(シス情報)と大阪大学の田村弘准教授らの研究グループは...

図地分離の仕組みを説明

AIの認識向上にも貢献

「人」だと分かっているが、脳が背景から「何か」を切り取る仕組みは解明されていなかった。酒井教授らはこれまで、V4の神経細胞が、図地分離の手掛かりとなる物体の輪郭や色、表面を認識する処理を...

先進的な取り組み 続ける広島大

全国の大学の中でも、キャンパスハラスメント対策に先進的に取り組んできたのが広島大だ。2004年には全国の大学で初め...



本紙の取材に応じる北仲准教授

ニーズに合わせ柔軟対応

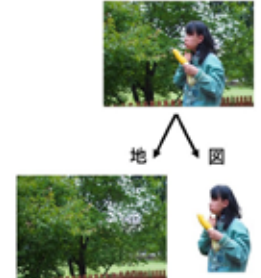
21、22年度は100件を超えたという。専任教員の北仲千早准教授によると、相談者に助言するなどの対応を...

手紙

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在学生の皆さんも春から新生活が始まりますね。...



(酒井教授提供)



風景の中に人を知覚するには、背景から「図」(人の部分)を切り出すこと(図地分離)が必要。

独自醸造スタイルで活動中



ぶくぶく醸造代表 立川哲之 さん

1年半後、憧れの会社を辞めてお酒業界に身を投じた。どうしても入社したく、就活もこの1社に絞るほどでした。しかし、...

提供)

ダンス部60回記念公演

伝統「軸」に新しさと追求

【かめありリリオホール(東京都葛飾区)で衣笠有紀、菅元愛香(心理学類3年)筑波大ダンス部60回記念公演「軸」が3月18日に行われた。現役部員による創作ダンスやOB・OGによる同窓生特別作品など3部構成で計13作品が披露された。創部当初のメンバーを含む約450人が会場を訪れ、ダンスに真剣に向き合う同部伝統の姿勢「筑波ブライド」を受け継ぐパフォーマンスを楽しんだ。

ダンス



同部は1955年、東京教育大ダンス部として誕生した。筑波大に生まれ変わった後も活動を継続し、今回は現役部員23人とOB・OGや大学院生など25人の計48人が出演した。公演タイトルの「軸」は現役部員で決めた。主将の三木麻衣さん(体専4年)は「しんぎには、心に一本強い作品まで、幅広い表現の幅を立てるイメージがある。筑波ブライドを引き継ぎ、高めていくという思いを込めた」と語った。第一部は現役部員が創作した7作品が披露された。出演者数は22人とさまざまに作り直すまでを表したミカ的な作品から、豪州の先住民の営みを表現した力

アジア室内選手権で奮闘

男子800m 薄田6位、女子走幅跳 高良7位



写真:新華社/アフロ

海外選手との男子800m決勝を6位で終えた薄田

アジア室内選手権が2月10、12日にカザフスタンのアスタナで開かれた。筑波大からは男子800mに薄田健太郎(令和4年度体育学学位プログラム修士)、女子走幅跳に高良彩花(同体育専門学群卒)が日本代表として出場した。薄田は6位、高良は7位だった。2人は今春から社会人として競技を続けており、筑波大所属としては最後の試合となった。(川上真生)

アジア室内選手権は2004年に始まり、2年に1度、アジアの各都市で開催されてきた。しかし、20年に中国・杭州で開催予定だった第9回大会はコロナ禍で中止となり、今大会も開催が1年延期されていた。薄田は10日の予選1組で1分51秒35を記録し、3着となった。自動的に決勝に進出が決まる2着以内は逃したものの、タイム順で決勝進出を決めた。12日の決勝では、同じく決勝に進出した金子魅玖人(中央大)と2人で先頭に立ってレースを進める」と事前に話していたという。金子は言葉通りのスタート直後に先頭に立ったが6レーンから出た薄田は

陸上



1000m地点のカーブでスピードに乗れず、金子の後を追う形になった。その後も、2周目のコーン争いで外国人選手と激しく接触するなどペースをつかめず、1分52秒06の6位でレースを終えた。金子は5位だった。薄田は「力負けしてしまっただけ。海外選手は位置取りや力の出し入れがうまく、その差を痛感した。今回の経験を世界陸上出場につなげたい」と話した。高良は3位以内を目標としていたが、自己ベストに36センチ及ばない6位14で7位に終わった。高良にとっては大学1年時に出場したユニバーシアード以来の国際大会。だが、卒業論文の提出や新生活の準備と重なり、練習時間が満足に取れない中で

三浦 初の日本タイトル獲得 室内選手権女子60m

日本室内選手権が2月4、5日に大阪城ホール(大阪府吹上区)で開かれた。筑波大からは女子60mに三浦由奈(体専4年)、男子60mに辰巳新(令和4年度体育専門学群卒)が出場した。三浦は7秒50で初優勝

室内選手権女子60m

し、自身初の日本選手権チャンピオンに輝いた。三浦は昨年5月の関東学生競技対校選手権(関東インカレ)女子100mで優勝し、同種目の筑波大記録を保持する実力者だ。シーズン開幕となった今大会では「スタートの1歩目を大きく踏み出す」ことを目標にしていた。見せて優勝した。高良は、「刺激をもらう場面も多く、予めせぬ状況でどう対応すべきかを学べた大会だった。悔しい結果にはなかったが、社会人として出場する次の大会にこの経験を生かしたい」と振り返った。



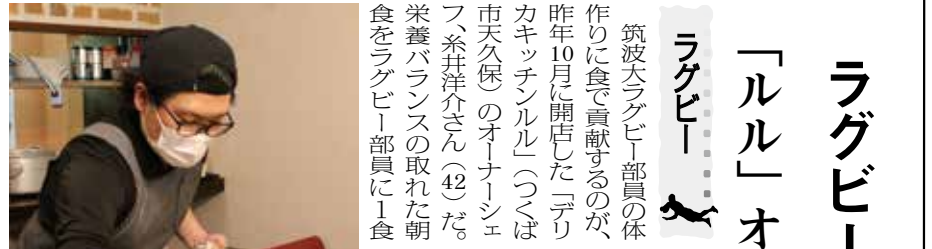
日本選手権初タイトルを手にした三浦(中央) = 日本陸上競技連盟提供

とが多かったからだ。予選はスタートでやや出遅れたが、1組2着で決勝に進出した。三浦は「1歩目は改善できていたが、左レーンを守る選手が目に入り、上半身に力が入り、スタートで失敗する」と約4時間後の決勝までたかかったという。迎えた決勝では、「周りの選手を気にすることなく、スタートも問題なかった」という万全な走りでの優勝を果たした。三浦は「スタートの1歩目を改善した走りができた。今年は国際大会で日本代表入りをすることを目標にしたい」と語った。男子60m予選2組に登場した辰巳は6秒91で7着に終わり、決勝進出を逃した。(川上真生)



「喧嘩の関係」のエンディングで手を重ねる4年生(3月18日、東京都葛飾区) = 衣笠有紀撮影

主人公とその仲間たち4人が団結し、手を重ね合わせるラストシーンでは、会場から割れんばかりの拍手が鳴り響いた。主人公を演じた三木さんは「言いたいことが言い合える関係になりたいという思いで、4年生部員10人全員で創作した。4月の構想段階から今まで、意見を出し合い、作品と共に成長した1年だった」と振り返る。東京教育大ダンス部OGで、第1回公演に出演した来賓の石黒節子・お茶の水女子大名誉教授は「当時は練習方法も自分たちで、から考えていたが、今は練習方法も確立し、技術が向上している。筑波大らしい奇麗な踊りに加え、土着的な力強い踊りなど新しい試みも見られて良かった」と話した。



早朝から準備をする糸井さん(2月7日、デリカキッチンル)で

ラグビー部員を食で支える 「ルル」オーナーシェフ糸井さん

ラグビー部員は400円で提供している。そのかきもあり、ラグビー部は今年1月、8大会ぶりに大学選手権決勝に進出した。対戦相手の帝京大には大敗したが、糸井さんは「帝京大の選手は寮生活で、食事管理もきちんとしている」と聞いた。自分ができることで筑波大ラグビー部を

を頼張りながら教えてくれた。糸井さんは元々、つくば市内の飲食店に勤務し、体系エリアで弁当販売をしていた。4年前、仲良くなったラグビー部員から「朝食や夕食を作ってほしい」と声を掛けられたが、コロナ禍などで実現しなかった。だが、昨年2月に嶋崎達也監督(体育系・助教)から改めて依頼があった。ラグビー部は2大会ぶりに大学選手権出場を逃し、体作りや練習内容を見直していた。その一つが選手の食生活の改善だった。

糸井さんは、独立したいと考えていたこともあり、申し出を受けた。筑波大の運動部の学生が練習後、外食チェーンに集団で入る場面をしばしば見かけ、「栄養バランスの取れた食事を

摂れるようにできないかと考えていたことも、決断を後押しした。正式開店前の昨年7月から店舗で朝食の提供を始めたが、新型コロナウイルスの感染拡大が第7波を迎えた8月下旬、12月は、弁当にして配った。実は、糸井さんが提供した朝食のメニューが同じだったことは一度もない。「食事を楽しんでほしい」との思いから、同じ食材でも味付けや組み合わせを変えたりしている。糸井さんは1月の準決勝を国立競技場で観戦し、帝京大の圧倒的な強さに驚いたという。「来年は絶対、帝京大を負かしてほしい。今は、ラグビー部以外の筑波大のアスリートたちの食生活も支えたい」と話した。(重谷郁実、写真も)

リードジャパンカップ優勝 森秋彩 4年連続6度目



決勝戦で課題に挑む森=本人提供

スポーツクライミングのうち、到達した高さを競うリードジャパンカップが2月25、26日に松山下公園総合体育館(千葉県印西市)で開かれた。女子は森秋彩(体専3年)が4年連続6度目の優勝を果たした。

クライミング

森は準決勝までの3本のリードをただ一人完登し、1位で決勝に進んだ。上位8人が出場した決勝で森は、最後に登場。初手のホールド(突起物)の位置が高く、その後もホールド間の距離が長い難コースに挑んだ。

つき6分間となっている。森は準決勝までの3本のリードをただ一人完登し、1位で決勝に進んだ。上位8人が出場した決勝で森は、最後に登場。初手をホールド(突起物)の位置が高く、その後もホールド間の距離が長い難コースに挑んだ。

決勝の壁に向き合った森は、制限時間の40秒をいっばいに使って初手を考えた。先に登場した7人中2人が初手で失敗していた。「公平性の観点から他の選手の登りを見ることはできないが、競技時間や意図で初手が落ちたことが分かった。自分も失敗するかもしれないと不安だった」と振り返る。

だが、足場を何度も確認して最初のホールドにしがみつく。全体の3分の2程を登ったところで残り2分を切ったが、一手一手確実に登り、残り25秒でそれまでのトップに追いついた。更に次の一手を確実につかんで優勝を決めた。

その後も完登を目指し、左上のホールドをつかもうと手を伸ばしたところで、惜しくも落下した。残り4手だった。「下見の段階ではそれほど難しく見えなかったが、想像以上に右手と右足が安定しなかった。

関東学生新人戦

池田女子単 Bブロック準優勝

永瀨・中村組男子複 Aブロック3位



懸命にシャトルを追う池田(2月28日、塩浜市民体育館で) = 川上真生撮影

バドミントン

【塩浜市民体育館(千葉県市川市)で川上真生(2社)男子ダブルスで永瀨雄大(体専3年)・中村舜(同3)会学類2年、森笠有紀(同3)ペアが3位に入った。選手権が2月14日〜3月1日に開かれ、Aブロックの男子ダブルスで永瀨雄大(体専3年)・中村舜(同3)ペアが3位に入った。選手権が2月14日〜3月1日に開かれ、Aブロックの男子ダブルスで永瀨雄大(体専3年)・中村舜(同3)ペアが3位に入った。

3月1日のBブロック女子シングルス決勝に臨んだ池田は、橋野光(青山学院大)と対戦。第1ゲームはコート奥まで低い軌道で

シャトルを返すドリフンクリアで崩され、17〜21で落とした。第2ゲームは狙い通りのラリー戦に持ち込んだが、ショットのミスが失点につながって16〜21で奪われ、0〜2で敗れた。

【つくばカピオ(つくば市竹園)で中谷美稀(人文)学類2年、川上真生(2社)学類2年、16面に関連写真】筑波大アスレチックデパートメント(AD)主催のホームゲーム、第3回「TSUKUBA LIVE」が3月22日に開催された。女子バスケットボール部が白鷲大に52〜78で男子バスケットボール部が東海大に48〜67で敗れた。初めての学外開催で、女子運動部の出場も今回が初めて試合に臨めた。白鷲大に

て、筑波大関係者や一般観客約500人が熱戦に声援を送った。女子の試合は開始20秒、主将の田中万衣羽(体専4年)の先制点から始まった。その後は一進一退の攻防が続くも、第1クォーターは15〜13とリードして終えた。第2クォーターは昨年の全日本大学選手権(インカレ)2位の白鷲大に逆転を許し、29〜42で前半を折り返した。筑波大も相手の守備態勢が整う前に奮い攻撃を仕掛けるも、徐々に点差を広げられ、52〜78で試合を終了した。

田中は「ホームゲームで、高いモチベーションを持って試合に臨めた。白鷲大に負けたのは悔しい結果になった」と語る。桜花学園高校ではキャプテンを務めた。「チームをインターハイ優勝、集まった優秀な選手たちに刺激を受け、他選手への指導も自分事として受け止めた」と語る。

仏女子代表ら筑波大で合宿

海外勢4カ国63人集う



外国人選手と組手をする日本人選手ら(3月3日、筑波大柔道場) = 衣笠有紀撮影

柔道

パリ五輪柔道競技で日本の最大のライバルとなるフランス女子柔道代表チームが2月28日〜3月4日まで、筑波大柔道場で強化合宿を行った。韓国、イスラエル、アゼルバイジャンの選手も参加し、筑波大柔道部員計30人や全日本柔道連盟の女子強化選手14人と稽古で汗を流した。

フランス代表は東京五輪女子63kg級メダルのクラリス・アグベニエ選手など東京五輪のメダリスト5人を含む14人。韓国女子柔道代表チームとイスラエル、アゼルバイジャンのジュニアチームを合わせ、海外勢だけで4カ国計63人が集う国際合宿となった。

昨年12月に東京で国際大会「グラッドスタム東京」が開かれた際に、フランスの監督が「技の技術レベルが高い日本で合宿したい」と全日本柔道女子代表チーム監督の増地克之教授(体専3年)に話を持ち掛け、開催が実現した。

増地教授は「フランスの選手は一度握った手を離さないのが特徴だ。東京五輪でも苦戦した。映像だけでは分からない海外選手特有のやりかたを、合宿を通して体感してほしい。日本側の強化選手は、パリ五輪後の活躍が期待される若手を集めた」と話した。

稽古は午前と午後の1日2回で、1回が2時間ほど。全体を三つのグループに分け、それぞれのグループの選手が別のグループの選手と立ち技や寝技を仕掛ける練習を繰り返した。

フランスのトルフェア・ジュリア選手(25)は「日本選手のプレースタイルは情熱的で粘り強い。相手国への敬意が感じられた良い合宿だった」と振り返った。

岡田弘隆准教授(体育系)によれば、コロナ禍前は年間300日ほど、筑波大柔道場に海外選手が訪れていたという。「フランスチームとは、中村良三教授が全日本女子代表チームの監督を務めたバルセロナ五輪以来、約30年間も交流が続く。筑波大柔道部には海外選手権(インカレ)では、先発出場した初戦で12得点・9リバウンドと活躍し、勝利に貢献した。

「大学での学びが将来の足の使い方や、ボストプレーでの体の使い方など競技力の基礎が養われる。日本一という環境でバスケットがしたい」と思い、進学を決めた。筑波大を日本一に導く」

スポーツ顔

バスケット



1年生で日本代表に朝比奈あずさ(体専2年)

100cmの身長を生かしたポストプレーが持ち味だが、持ち前のスタミナでコート走り続け、オールラウンドに活躍する。1年生ながら、昨年5月には日本代表に初招集され、国際大会を経験。同12月の全日本大学選手権(インカレ)では、先発出場した初戦で12得点・9リバウンドと活躍し、勝利に貢献した。

「バスケットボール選手権(現全国U15バスケットボール選手権)の神奈川県代表に選ばれた。個人としては全国大会も経験した。高校は、全国高校総体(インターハイ)で25回と振り返る。

高校での練習は、周りのプテンを務めた。「チームをインターハイ優勝、集まった優秀な選手たちに刺激を受け、他選手への指導も自分事として受け止めた」と語る。

「バスケットボールの経験が、今年日本一を目指したい」と語った。

「バスケットボールの経験が、今年日本一を目指したい」と語った。

国際女性デーで初イベント

フェムテックをテーマに

女性特有の健康課題を技術で解決するフェムテックをテーマとした講演会が国際女性デーの3月8日、2B棟で開催された。講師の山田奈子・日本フェムテック協会代表理事は「フェムテックは女性がライフプランを描く上での一助になる」とし、国内外のフェムテック事情などを紹介。対面とオンラインを合わせて約40人の学生と教職員が参加した。(高元愛香、写真も)

「フェムテック」は英語で「Female(女性)」と「Technology(テクノロジー)」を合わせた造語で近年、注目を集めている。

山田理事は講演で、自身が3年前に卵巣に関する病気を患ったことに触れながら、女性が自身の体を知ることが大切だ



講演を行う山田理事。後には、山田理事と参加者の交流会「ゆるカフェ」が開かれ、女性特有の体の悩み

「フェムテック」は英語で「Female(女性)」と「Technology(テクノロジー)」を合わせた造語で近年、注目を集めている。また、男性に対しても女性の健康課題を自分事として取り入れる企業が増えていると語り、講義を締めくくった。

「ゆるカフェ」で交流を楽しむ山田理事と講演会参加者たち(3月8日、2B棟)



「ゆるカフェ」で交流を楽しむ山田理事と講演会参加者たち(3月8日、2B棟)

に参加した女性職員は「生理解に悩み、低用量ピルの使用を考えたが、親に避妊目的かと言われた。講演を聞き、生活を楽にする商品を使うことは恥ずかしくない」と話した。



世界から教室から (モロッコ)

授業課題きっかけでモロッコに

皆さんは「開発」と聞くとどのようなイメージを持つでしょうか。きつと多くの方は、貧しさゆえに食糧や医療、教育アクセスの不足に苦しむ人々を助ける、といったイメージをお持ちでしょうか。実は、国全体を見れば中所得国に分類される北アフリカ諸国において、大きな経済的格差が存在していることもその課題を通じて知りまされた。そして私は、その原因と解決策を探りたい最中です。



北アフリカに興味を持ったのは大学一年生の時に受けた授業で取り組んだ課題がきっかけでした。その内容は、国を二つ選んで開発の課題とその解決策を考察しなさいというものでした。私はチュニジアを選びました。そして課題に取りかかると、今まで自分が見えていなかった開発の課題を知ることになりました。

飯田順子准教授(人間系)はフェイェック(現メタ)の元最高執行責任者(COO)、シエリル・サンドバーグさんが書いた「リード・イン」を紹介。「二歩を踏み出すと人生が楽しくなる。前向きになれる本だ」とコメントを添えた。

交換留学の制度を使って昨年9月からモロッコのアルリアハウィン大学で学んでいます。専攻分野は北アフリカ経済研究です。

北アフリカに興味を持ったのは大学一年生の時に受けた授業で取り組んだ課題がきっかけでした。その内容は、国を二つ選んで開発の課題とその解決策を考察しなさいというものでした。私はチュニジアを選びました。そして課題に取りかかると、今まで自分が見えていなかった開発の課題を知ることになりました。

北アフリカ全体においては、十分な教育を受けているにもかかわらず、職がなく生活に苦しむ若者が多いという課題を知り、北アフリカの中でモロッコを選んだ理由は、日系企業の進出数が多いこと、日本との経済的結びつきが強く、また歴史

的、文化的観点からみてさまざまな国から影響を受けている点に興味深いと感じたからです。モロッコに来てからは、たくさんのお話を体験し、学びました。そして今もこの国について学んでいる最中です。

私に通うアルリアハウィン大はアメリカの教育制度を採用しているため、英語で授業が行われています。そのため、モロッコ独自の学びというよりは世界標準の教育に重きを置いています。大学にきている若者の多くは経済的に豊かで、高度な教育やキャリアなどを積極的に求めて海外を志向します。しかし、大学の外に目を向けると、生計を立てるための出稼ぎといった消極的な動機で海外に渡る者を得ない人がいます。また、街中には物乞いによって生活を苦にする人を多く見かけます。この現状もモロッコ社会、経済のリアルを反映していると感じます。また、モロッコの多くの人はバイリンガルかマルチリンガルで、第一言語としてダリジャと呼ばれるモロッコ方言のアラビア語を、第二言語としてフランス語を習得しています。これに加え、モロッコの北部ではスペイン語が、また原住民族であるアマジフの人々の言語も話されています。言語からモロッコの文化の多層性や歴史を体感できる点がとても興味深いです。

露ウクライナ侵攻1年

避難学生ら「こんなに長く続くとは」



取材に応じたボグダナさん(左)とジビツカさん(3月8日、本紙編集室で) =加藤緑撮影

ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから、今年2月24日で丸1年が過ぎた。筑波大に避難してきたウクライナ人学生は長期化する戦争をどう見ているのか。現在の心境や母国にいる家族の様子について学生3人に聞いた。(重谷都美、加藤緑)

昨年8月10日に来日したア・ジビツカさんは来日前人文学類のクリニック・ボグダナさんとインタビュー。本語を学んでおり、今回の取材はほとんど日本語でやり取りとなった。

郷の状況は良くない。母国に残る家族への心配は尽きない。ボグダナさんの父は侵攻前に亡くなっており、キウ近郊で母が一人で生活している。ほぼ毎日ビデオ電話などで連絡を取っているという。「現地で初めて爆発音を聞いた時、とても怖かったことを思い出したが、母に無事でい

てほしいと、いつも願っている」と話した。幼稚園教諭だったジビツカさんの母は侵攻後、重傷を作るウクライナ南部のニコポリにある工場で働き始めた。戦争で幼稚園が休園しているからだ。ニコポリではまた攻撃が続いているという。「こんなに戦争が続くと思っていなかった。早く終わってほしい」と訴えている。

社会学類のマリア・ヒルニャクさんもウクライナの家族を心配している。ヒルニャクさんは昨年7月31日に来日した。故郷のウクライナ西部の都市、リビウの状況は来日時よりも悪化したという。今年3月には実家近くにミサイルが打ち込まれ、死者が出た。ヒルニャクさんは「家族は無事だったが、本当に怖い。(ロシア

「サークル活動を通して日本人の友人もできた。もっと日本語を勉強したい」と話した。

ボグダナさんは筑波大の大学院進学を目指したいという。これまでは日本語の書籍の翻訳家を目指していたが、戦争を機に、外交官になりたいと考えるようになった。「世界の平和を守るために、各国の関係を良

好に保つ仕事をしたい。国際経済や政治など多様な分野の研究者がいる筑波大で、まずは学びを深めたい」と今後の展望を語った。

リサイクルングプロジェクト

後輩に不用品を無償提供

卒業生などからまた使える不用品を回収し、新入生や在学中に無料で譲渡する「RECYCLING PROJECT」をスタートさせた。回収された生活雑貨などが並んだ(3月9日、1A棟)



回収された生活雑貨などが並んだ(3月9日、1A棟)

卒業生などからまた使える不用品を回収し、新入生や在学中に無料で譲渡する「RECYCLING PROJECT」をスタートさせた。回収された生活雑貨などが並んだ(3月9日、1A棟)

筑波大では例年4000人を超える留学生を迎えている。日本に来て、どこで生活必需品を買うのかも分からない留学生が、無料で必要なものの一部をそろえることもできる。学生交流課の糸井智香係長は、「情報交換や他の学生との関係を作る場にもしたい」と話す。(久玉佳純、写真も)

筑波大とカルティエが共同研究

誰もが安心して所属できる居場所とは

誰もが安心して所属する居場所とは何か。筑波大と「リシユモン ジャパン株式会社 カルティエ」(本社・東京都千代田区)は昨年4月、このテーマを掲げた共同研究プロジェクトを始めた。その一環で、2月20、21日には障害とジェンダーをテーマにしたワークショップが情報メディアユニオンで開かれた。筑波大生や同社の社員ら計約20人がケーススタディなどを通じて意見交換した。(高元愛香、写真も)

プロジェクト名は「TB ASHOWHERE we belong」。大学生の今の居場所である「大学」と将来の居場所である「職場」に焦点を当て、「DE&I」(多様性、公平性)の観点から、安心して所属することができ、居場所には何が求められるのかを探る。

ワークショップなどを積み重ね、3年かけて「居場所」の評価尺度の開発や「居場所」の実現に向けた提案を行うことを目指す。ワークショップは、多文化共生」をテーマにした昨



グループディスカッションを行うカルティエ社員と学生たち (2月21日、情報メディアユニオンで)

筑波大生と地域をつなぐマルシェ

サイクルシクつくばで初開催

筑波大の学生団体「かぎくるま」と自転車店「サイクルシクつくば」(つくば市杉)が主催するまちづくりイベント「マルシェ」が2月18日、同店で開かれた。筑波大生によるフリーマーケットや自転車の試乗会、筑波大写真部の作品展示など盛りだくさんの内容で、子供からお年寄りまで多くの地域住民がイベントを楽しんだ。(高元愛香、写真も)

16面に関連写真) イベント名の「マルシェ」には、風車や車輪のイメージと、多くの人々が「来る」「マルシェにしたい」との思いを重ねたという。同店の駐車場には、筑波大の校章などがプリントされた筑波大公認サイクルな... 鮮なものを廃棄するの... もったいないと企画された。



地域住民に商品の説明をする沢田さん (2月18日、サイクルシクつくば駐車場で)

試乗した竹内優さん(情報科4年)は「マルシェが地域を久しぶりに訪れるきっかけになった。フード... 3Dプリンターで製造した、人や動物の顔をデザインしたマグネットなどを出... 品した沢田亮さん(芸専3年)は「地域住民の方々から作品の感想を直接聞けるので、創作意欲の向上につながる」と話した。

サイクルシクつくば店内では、花畑や海などを撮影した筑波大写真部の作品13点が展示された。また、来場者がカードゲーム「プリック」を遊ぶコーナーも設けられ、学生と地元住民らがテーブルを囲んだ。

つくば市内在住の川田明枝さん(73)は「学生が運営しているからか、活気があっていい」と話した。イベントを主催した「かぎくるま」は地域住民と学生の交流促進を掲げる学生団体で、社会学部開設の「都市計画演習」の受講生らが2022年7月に結成...

平砂浴場大幅値上げ

光熱費高騰で 1回300円に

平砂宿舎共用棟浴場(平砂浴場)の利用料金が3月に値上げされた。1回券は100円上がって300円に、1ヵ月定期券は1500円上がって4500円になった。回数券は3600円に据え置かれただけで、今年1月、学生生活課に値上げを要望していた。今年も、こう... 意見交換の場を大切にしたい」と話した。

共同研究メンバーの河野禎之助(人間学)は「DE&Iを巡る課題の難しさは、正解がない。人々や状況によって変わってくる。解決には対話し続けることが不可欠で、ワークショップをそのきっかけにしてほしい」と話した。

肌寒さが残る3月中旬の午前8時過ぎ、つくばセンターのバスターミナルから「旅と鉄道の会」の会長を務める細内素裕さん(比文2年)と多田和真さん(人文2年)が路線バスに乗り込んだ。筑波大生は東京に目が向きがちだが、つくば周辺にも見どころは多い」と、細内さんが企画した有志旅行の始まりだ。



新歓祭本祭 対面実施

マスク着用は個人の判断に

新入生歓迎(新歓祭) リアと石の広場で昨年に続いた本祭が4月8日、第一エキス対面実施される。新入生と各流する。お目当ては蒸気機関車「C12形66号」が牽引する「SLもおか」。下館駅と茂木駅(栃木県茂木町茂木)を結ぶ真岡鉄道大きな汽笛を鳴らして迎える。機関車はC12は線路の土台が貧弱で、重量制限が厳しい路線で活躍している。移動中は、車窓からの風景やエンジンの音、速度の違いなどを乗しむ。アフリカ列車の速度を測っていた多田さんは「区間ごとに制限速度が変わったり、カーブで速度を落としたりなど、運転のことが直に読み取れる」と熱く語る。



蒸気機関車「C12形66号」の前でポーズを決める会員ら (3月21日、真岡鉄道下館駅で)

生は所属学群によって午前と午後の部に分かれ、興味のある課外活動団体の展示を見たり、活動内容についてメンバーから話を聞いたりとすることができる。教室での展示企画には約40団体、屋外ブースでの展示には約80団体に参加する。また、石の広場などの屋外特設ステージでは計36団体がダンスや軽音楽などのパフォーマンスを披露する予定だ。

3月10日に加藤和彦(学務)長(総務人事・情報環境担当)が通知した「当面のマスク着用の方針について」に従い、マスクの着用は個人の判断に任せるとしている。

同浴場の浴槽は男湯が二つ、女湯が一つ。経費削減のため、昨年12月5日から男湯の浴槽一つの運用が停止されていた。新入生の宿舎入居を受けて、4月から5月末までは運用を再開するが、その後の運用は、利用状況を踏まえて判断するという。(中公美穂)

個人の見解に任せるとは、感染対策として、手指の消毒や教室や屋内の換気は引き続き行う。新歓祭推進委員会副委員長(谷田部真仁さん(人文4年))は「新入生には自分... に合ったサークルを見つけ、活動を通して自ら問題を発見して能力を身に付けてほしい」と話した。

新歓に関する情報は各団体のSNS(ネット交流サービス)や新歓Web(https://www.stb.tsukuba.ac.jp/shinkan-web/)で確認できる。(加藤緑)

筑波大鉄研「旅と鉄道の会」

最初の目的地はJR下館駅(茨城県筑西市)。路線バスを乗り継いで、同10時22分に到着した。東京に住む竹内真雄さん(社工4年)...

公共交通機関使い旅を満喫

出発すると観光客から歓声が上がる。「整備を繰り返しながら今でもSLが走っている姿に感動した」と竹内さん。その後、関東鉄道湯浦が活動の中心だ。随時有志旅行を行う。細内さんは「時刻表や車両、廃線など、関心を持つ対象が異なるメンバーが集まっており、公...

「先輩から旅の質(QOT)を考えて行程を組むことを教わった。ゆとりを持って楽しめる旅行を企画していきたい」と細内さん。会員の好奇心はここでも続く(川上真生さん社会学類2年写真も)

Who's Who?

地元・徳島で子供の居場所支援

川邊 笑 さん (教育4年)



居場所づくりに取り組む川邊さん=本人提供

大学を昨年度休学して地元の徳島県牟岐町に戻り、過疎地域の子供たちの居場所づくりに取り組んできた。「誰もが悩みや生きづらさを抱えて生活している。でも、抱えられるしんどさには限度がある。ヨイショと置ける場所を作らなければ」と語る。提供している居場所は「ゆあぶれ」と「われもこ」の二つ。いずれも、地元のNPO法人の拠点を間借りするなどして、無

料で提供中だ。ゆあぶれは週に1回、中高生が放課後に立ち寄って、お菓子を食べたり、雑談したり、勉強したりできるスペースだ。事前登録は不要で、毎回、5〜10人程度がやってくるという。われもこは、不登校の児童や生徒向けの居場所で、週に1回、日中に開設される。事前登録で、18人が参加している。公認心理師の資格を持つ元教員

が常駐し、保護者の相談に乗ったり、学習支援をしたりしている。「家から出たがなかった子供が、われもこには通う」などの声が、励みになっている。自身の体験が活動の原点だ。中学生時代は生徒会長に加え、バレー部と駅伝部のキャプテンを務めた。周囲からは優等生と見られたが、「苦手な分野で頑張れない自分」に悩む日々だった。そんな時、知り合いの大人が自殺した。周りからは大丈夫に見えるけど、実は悩みを抱えている人が多いのではないかと考える契機になったという。筑波大入学後は、認定NPO法人「Learning for All」(事務局・東京都新宿区)の活動にインターンとして参加。つくば市を中心に、さまざまな事情を抱える子供たちの学習支援に取り組んだ。「不登校や貧困などの問題を抱える子供たちが多く、日本社会の生

「田舎の優しさ」で孤立をなくす 人知れず悩んだ過去が出发点

きにくさを痛感したと振り返る。それと同時に地域間格差も感じた。「牟岐町のような過疎地域にも、悩みを抱える子供たちがいるが、都市部とは違い、対応する居場所づくりを行政も民間もできていない」と思った。大学2年生の冬、そんな現状を変えようと、自身の長期休暇を限定して「ゆあぶれ」を始めた。毎回、5人ほどの中高生が来るようになった。だが、日常的な居場所が必要だと考え、思い切って休学。昨年6月から週1回開催に変更し、同9月から「われもこ」の運営も始めた。

ゆあぶれのスタートに先立ち、町立牟岐中学校の過去5年間の卒業生にアンケートしたところ、半数が「固定された人間関係に生きづらさを感じた」と回答した。以来、「田舎には特有の生きづらさがあるが、濃密で温かい人間関係には優しさも

ある。良い面を生かしたい」と考えながら活動するようになった。実際、居場所づくりを始める中で、地域の人々からさまざまな支援を受けた。運営には大学生から地元のシニア世代まで約20人がボランティア参加し、子供たちの居場所は、多世代の交流の場にもなっている。今年4月に復学したが、取り組みを継続し、ボランティアベースの現在の活動を公的なものにしていきたいと考えている。

その手始めとして、地域のさまざまな人たちが集まって子供たちを支える地域食堂の開設を計画した。将来は、子供たちの居場所づくりを事業化し、全国の過疎地域に広げる夢を持つ。「今年も、大学生として自由に活動できる最後の1年。新たなチャレンジをしたい」と決意を新たにしている。(衣笠有紀=心理学類3年)

次号は 6月12日(月) 発行予定です

印刷：リプロム 発行所：筑波大学

令和4年度卒業式



学位記を永田学長から受け取る卒業生(3月24日、大学会館で)=加藤緑撮影

2面へ

卒業・修了制作展



山形彩月さんの茗溪会賞受賞作品「生彩」(2月12日、つくば美術館で)=嵩元愛香撮影

5面へ

「TSUKUBA LIVE！」バスケ



大勢の観客を前に果敢に攻め込む副島(右)(3月22日、つくばカピオで)=川上真生撮影

13面へ

くるくる桜マルシェ



店内でカードゲームを楽しむ学生と地域住民(2月18日、サイクルシックつくばで)=嵩元愛香撮影

15面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活

編集後記

(同)のように学生と地域住民、双方の交流の場を目指した取り組みもありました。温かな笑顔を作る人と奮闘する人々を見て、居場所が試行錯誤して作り上げられるのだと痛感しました。一方、「ハラスメント」がある場所では、人が能力を発揮することはできません(1面)。編集長という立場上、自分の言動が誰かを傷つけないよう、細心の注意を払わなければと肝に銘じました。形は違えども、居心地の良い場所づくりを目指す人々から多くの示唆が得られました。本紙も、誰かにとっての居場所になればと思います。(編集長・嵩元愛香=心理学類3年)

■筑波大学新聞編集委員会
▽前委員長 逸村裕(図書館情報メディア系・元教授)▽図書館情報学▽前委員長 清水諭(体育系・教授)▽スポーツ社会学▽委員 秋山肇(人文社会学系)▽委員 憲法・平和研究▽内海真生(生命環境系・教授)▽水環境生態工学▽前委員 関瑞穂(前学生部長)

■筑波大学新聞編集部
▽編集代表 鴨志田公男(筑波大学・教授)▽サイエンスコミュニケーション▽編集長 嵩元愛香(心理学類3年)▽副編集長 川上真生(社会学類2年)▽加藤緑(生物学類2年)ほか編集部員9人